

令和5年度
事業報告書

社会福祉法人
邑南町社会福祉協議会

令和5年度事業報告目次

【総務課】

1.	総括 諸会議（役員会・評議員会等）	1 頁～4 頁
2.	定款・諸規程の整備	4 頁
3.	課長会議 事業経営管理（マネジメント）体制の強化	4 頁～6 頁
4.	自主財源の造成と適正運用	6 頁
5.	社協会費	7 頁
6.	新盆お供え配布事業	7 頁
7.	指定管理施設の維持管理	7 頁
8.	社会福祉法人・医療法人地域貢献連絡協議会の開催	7 頁
9.	邑南町老人クラブ連合会事務局補佐	8 頁
10.	出張研修	8 頁～10 頁

【地域福祉係】

1.	地域共生社会事業の推進	11 頁～16 頁
2.	シルバー人材センター事業	16 頁～17 頁
3.	当事者組織・団体等への個別支援	17 頁
4.	地区社会福祉協議会活動の促進・支援	17 頁～20 頁
5.	小地域福祉活動（おおなん流）推進事業	20 頁
6.	ボランティアセンター事業	20 頁～22 頁
7.	児童・青少年福祉の推進	22 頁～24 頁
8.	共同募金事業	24 頁～25 頁
9.	広報活動の推進	25 頁～26 頁

【生活支援係】

1.	総合相談事業	27 頁
2.	権利擁護センター事業	27 頁～28 頁
3.	生活困窮者自立相談支援事業	29 頁～30 頁
4.	生活支援事業	30 頁～31 頁

【居宅介護支援事業】

1.	居宅介護支援事業	32 頁～34 頁
2.	福祉用具貸与・販売事業	34 頁～35 頁

【西部介護保険課】

1.	通所介護事業	36 頁～37 頁
2.	訪問介護事業	38 頁～39 頁
3.	訪問看護事業	40 頁～41 頁

【東部介護保険課】

1.	通所介護事業	42 頁
2.	訪問介護事業	43 頁
3.	軽度生活支援ハウス運営事業（安心センター居住）運営	44 頁

令和5年度邑南町社会福祉協議会事業報告

・総括

新型コロナウイルス感染症が、5月8日からインフルエンザ等と同じ「5類」に移行し、外出自粛の要請も緩和され、3年余り続く国の感染症対策は大きな節目を迎えました。地域においては今まで通りの日常生活に戻りつつある状況です。

しかしながら、少子高齢化や人口減少、物価高騰等の社会情勢等の影響で、地区社協や自治会といった地縁組織は脆弱化してきています。

この様な状況において、地域福祉を推進する中核的な機能を持つ組織である邑南町社会福祉協議会では、町行政や関係機関と連携しながら住民参加による地域福祉活動を展開してきました。

介護保険事業については、人口減少による介護保険認定者の減少、介護人材不足や報酬改定などの理由で安定した事業運営が厳しい状況にあります。

引き続き、介護保険事業の検討・協議を重ね法人としての方向性を早急に打ち出す必要があると考えます。

【重点事項】

〔法人の運営〕

総務部会、地域部会を開催し社協の運営が円滑に行えるよう検討・協議を図りました。

特に、介護保険事業においては人口減少による対象者の減少、介護支援専門員を始めとする介護現場での人材不足等の理由で経営は厳しい状況です。

そこで令和5年度に介護保険事業に関する小委員会を設置し、これからの介護保険事業のあり方の検討・協議・研究を行いました。

〔地域福祉推進〕

地域共生社会の実現に向けて、福祉分野では地域包括ケアシステムの構築が必要とされています。

当会においては、町から生活支援コーディネーターの委託を受け、制度の狭間の問題や生活課題を地域住民主体で解決する仕組みづくりを行政や各種関係機関とパートナーシップの強化を図りながら取り組みました。

また、町が掲げる「誰一人も取り残さない」施策に沿って個別支援から地域づくりをテーマに「断らない相談支援」「参加支援」「地域づくり」の3つの柱を意識した重層的体制整備事業を展開しました。

〔介護保険事業等〕

介護保険事業においては、新型コロナウイルス感染症で利用者の減少も見られたが、最も事業収入に影響があった要因は、人口減少による対象者の低迷と実績に応じた職員配置が適正ではなかったことが上げられます。

また、有資格者の人材確保や育成といったところが課題ともなっています。

令和5年度については、介護保険に関する小員会を設置しこれらの課題を解決するための検討・協議を行いました。

令和6年度は、通所介護事業については、利用者定員数、営業日数の変更や職員配置などの改善を進めると共に、介護支援専門員などの資格取得を意識づけ職員の質の向上と介護保険事業の運営が課題となっています。

【 総 務 課 】

1. 諸会議

1. 理事会の開催状況

回数	開催月日・開催場所	議事及び協議事項
第1回	令和5年5月26日 社会福祉協議会会議室 理事 13名出席 監事 2名出席	(議案事項) 議案第1号 経理規程の一部改正について 【可決】 議案第2号 令和4年度事業報告について 【可決】 議案第3号 令和4年度計算書類について 【可決】 議案第4号 令和4年度財産目録について 【可決】 議案第5号 社会福祉充実残高の承認について 【可決】 議案第6号 令和5年度社会福祉事業補正予算(第1号)について 【可決】 議案第7号 令和5年度公益事業補正予算(第1号)について 【可決】 議案第8号 定時評議員会の開催について 【可決】 議案第9号 評議員選任・解任委員会の開催について 【可決】 議案第10号 評議員候補者の選任について 【可決】 議案第11号 理事・監事候補者の推進について 【可決】 議案第12号 地域福祉課車両購入について 【可決】
第2回	令和5年6月21日 社会福祉協議会会議室 理事 14名出席 監事 2名出席	(議案事項) 議案第13号 会長の選任について〔石橋 純二氏〕 議案第14号 副会長の選任について〔三上 洋司氏〕 議案第15号 常務理事の選任について〔日高 輝和氏〕 議案第16号 評議員選任・解任委員の選任について
第3回	令和5年9月29日 社会福祉協議会会議室 理事 14名出席 監事 3名出席	(議案事項) 議案なし 〔報告事項〕 1. 本会代表権を有する者の変更 2. 6/23夕方6時、本部にて会長より職員に就任あいさつ 3. 6/24第17回チャリティ神楽大会(矢上改善センター) 4. 7/4市町村社協会会長(松江)令和6年度島根県への提言・要望 5. 9/6-7 社協トップミーティング(隠岐)島根県への提言・要望 (知事のコメント) 6. 9/22老人クラブ 連合会研修会(安佐医師会病院 院長 土手慶吾氏) 7. 9/25 邑南町地域福祉4者会議 8. 各地区敬老会について9/16中野・日貫、9/30井原 9. 地域福祉課車両購入について
第4回	令和5年12月21日 社会福祉協議会会議室 理事 13名出席 監事 3名出席	(議案事項) 議案第17号 令和5年度社会福祉事業補正予算(第2号)について 【可決】 議案第18号 定款変更について 【否決】 〔報告事項〕 1. 共同募金運動 2. 10/14 県民福祉大会(民協2名・老連2名) 3. 10/16 表彰審査会 4. 10/24 県指導監査室 5. 11/8 町総合社会福祉大会 6. 11/20 第三者委員研修会(浜田)(委員3名参加)

		7. 11/27 介護保険事業に関する委員会 8. 12/15 邑南町介護サービス施設・事業所ヒアリング 9. 12/21 令和5年度中間監査
第5回	令和6年2月29日 社会福祉協議会会議室 理事 13名出席 監事 2名出席	(議案事項) 議案第18号 令和5年度社会福祉事業補正予算(第3号)について 【可決】 議案第19号 令和6年度事業計画(案)について 【可決】 議案第20号 令和6年度予算(案)について 【可決】 議案第21号 給与規程の一部改正について 【可決】 議案第22号 評議員会の開催について 【可決】 議案第23号 事務局長の選任について 【可決】 事務局長 渡邊健二

2. 評議員会の開催状況

回数	開催月日・開催場所	議事及び協議事項
第1回	令和5年6月21日 高原環境改善センター 評議員18名出席	(議案事項) 議案第1号 令和4年度事業報告について 【可決】 議案第2号 令和4年度計算書類について 【可決】 議案第3号 令和4年度財産目録について 【可決】 議案第4号 社会福祉充実残高について 【可決】 議案第5号 役員(理事・監事)の選任について 【同意】 議案第6号 令和4年度社会福祉事業補正予算(第1号)について 【可決】 議案第7号 令和4年度公益事業補正予算(第1号)について 【可決】 議案第8号 地域福祉課車両購入について 【可決】
第2回	令和6年3月19日 高原環境改善センター 評議員16名出席	(議案事項) 議案第9号 令和5年度社会福祉事業補正予算(第2号)について 【可決】 議案第10号 令和5年度社会福祉事業補正予算(第3号)について 【可決】 議案第11号 令和6年度事業計画(案)について 【可決】 議案第12号 令和6年度予算(案)について 【可決】

3. 三役会

回数	開催月日・開催場所	内 容
第1回	令和5年8月30日 西部センター 会議室	職員の状況について ○介護保険事業について ○その他 令和6年度事務局体制について
第2回	令和6年1月12日 社会福祉協議会会議室	○課長面談
第3回	令和6年1月18日 社会福祉協議会会議室	○課長面談

4. 総務部会

回数	開催月日・開催場所	内 容
第1回	令和5年11月21日 社会福祉協議会 会議室	定年延長について ○島根県地域福祉課指導監査室指摘事項について ○職員に関することについて ○その他

5. 地域部会

回数	開催月日・開催場所	内 容
第1回	令和5年8月30日 社会福祉協議会 会議室	部会長・副部会長の選任について ○今後の地域福祉活動について 共同募金活動について 配食サービスについて シルバー人材センターについて ○その他

6. 介護保険事業小委員会

回数	開催月日・開催場所	内 容
第1回	令和5年11月27日 社会福祉協議会 会議室	各介護保険事業より現状報告（収支の状況）（経費削減案） ○意見交換 ○その他
第2回	令和6年1月22日 社会福祉協議会 会議室	○各介護保険事業の収支状況について ○通所介護事業の利用人員と人員配置について ○その他
第3回	令和6年2月15日 社会福祉協議会 会議室	○西部通所介護事業所、東部通所介護事業所の運営について ○介護保険事業に関する今後のスケジュールについて ○その他 きらりおおなん事業の活用について

2. 定款・諸規程の整備

1. 経理規程の一部改正（注記事項の記載変更）
2. 給与規程の一部改正（邑南町給与に関する条例 給与表の変更）
3. 給与規程の一部改正（邑南町給与に関する条例 給与表の変更）

3. 課長会議の開催

毎月1回開催	協議内容
令和 5年 4月	1) 給与規程給与表の改定について 2) 通勤届のについて 3) チャリティ神楽について 4) 通院付き添いサービスについて 5) 令和4年度事業報告について（4/21まで）
5月	1) 経理規程の一部改正について 2) 新型コロナウイルス感染対策について
6月	1) 5/8以降コロナ5類移行について（邑南町社協は特別休暇対応） 2) 口座振替手数料について 3) コロナワクチン接種の体調不良の対応について 4) チャリティ神楽について 5) ボランティア養成について 6) 大規模修繕について 7) 介護保険事業に関する協議について（第3回理事会 9/29）
7月	1) 浜田労働基準監督署より是正勧告について 2) 夏期休暇予定表について 3) AEDの更新について（本部・東部・西部・くるくる工房） 4) 令和6年10月からパート、アルバイトの社会保険加入について 5) 個別メールアドレスについて 6) しまそこQRコード（ふくっち）について 7) グーグルフォーム利用について 8) 7/8 ボランティア研修会について 9) 9/1 島根県立大学実習について

	10) 介護保険事業に関する協議について (第3回理事会 9/29)
8月	1) 定年延長について (8/3 労務相談会報告) 2) 指定管理施設について 3) 西部センター健康診断について (9/26) 4) 職員確保について (西部介護保険課) 5) パソコン保守について 6) 三役会について (職員採用試験・介護保険事業検討会)
9月	1) 現況報告書記載事項に関する疑義照会票の回答について 2) 正規職員の定年について 3) 邑南町委託事業補正予算について (軽度生活支援ハウス) 4) 総合社会福祉大会表彰について
10月	1) 12月補正予算について (総務課) 2) インボイス制度について (令和5年10月より) (総務課) 3) 最低賃金の改正に伴う賃金改正について (総務課) 4) 共同募金運動について (地域福祉課) 5) ボランティアの日について (地域福祉課) 6) 表彰推薦について (地域福祉課) 7) 総合社会福祉大会について 8) 介護保険事業に関する委員会の設置について
11月	1) 令和6年度補助金・委託金当初予算について 2) インフルエンザワクチン接種について 3) 邑南町社協 預金の現状について 4) 共同募金運動について (地域福祉課) 5) ボランティアの日について 6) 総合社会福祉大会について 7) 介護保険事業に関する委員会の設置について 8) 今年度中間監査について (12/21 理事会終了後開催)
12月	1) 中間監査資料について (総務課) 4月 9月 2) 介護サービス施設・事業所調査ヒアリングについて 3) 断続的労働に従事する者に対する適用除外許可申請について 4) 出張について (確認事項) 高速道路の使用について 5) 12/28 退職辞令の交付・仕事納めについて 6) 1/4 仕事始めについて 7) 介護保険事業に関する委員会の設置について 11/27 議事録 8) 理事会への議案について 補正予算 定款変更 9) 中間監査について 12/21
1月	1) 育児休業の申請に併せて保育園の入所手続きについて 2) 処遇改善手当支給額について 3) 管理職の資格手当について 4) 令和6年度組織について 5) 職員に関することについて (西部センター) 6) 令和6年4月1日採用職員について 7) 1/21 郡社協職員交流会について 8) 1/12 三役会 (課長面談)
2月	1) 事業計画・予算について 2) 介護保険小委員会から求められた資料作成について 3) 職員配置について (東部センター) 4) 2/29 理事会について 事業計画・予算 5) 令和6年度事業計画 (中間監査等の指摘事項を視野に) 6) 2/15 介護保険検討委員会について 7) 令和6年度職員異動内示を3月4日に発表

3月	1) 介護保険事業について 2) 令和6年度臨時職員の雇用について 3) 居宅介護支援事業所加算 算定手当について 4) 3/19 評議員会について 5) 介護保険事業に関する小委員会について 6) 退職辞令の交付について 7) 4/1 辞令の交付について
----	--

4. 事業経営管理(マネジメント)体制の強化

- 1) 理事・監事研修の実施
- 2) 監事監査の実施

監査会

回数	開催月日・開催場所	内 容
第1回	令和5年5月11日 5月12日 社会福祉協議会 会議室	令和4年度事業監査 [令和4年4月1日～令和5年3月31日] 令和4年度事業報告書 計算書類及び附属明細書 財産目録 監事監査チェックリスト(業務管理編)(会計管理編)
第2回	令和5年12月21日 社会福祉協議会 会議室	令和5年度事業監査 [令和5年4月1日～令和5年9月30日] ○令和5年度上半期事業報告(4月～9月) ○計算書類(令和5年9月末) ○監事監査チェックリスト(会計管理編)
第3回	令和6年3月8日 社会福祉協議会 会議室	令和5年度内部経理監査 内部経理監査員2名による監査 内部経理監査チェックリスト

5. 自主財源の造成と適正運用

- 【内 容】 「福祉基金」の国債運用
- 定期貯金 50,000千円〔2年〕[令和6年6月]
 - 決済口座 50,000千円
 - パソコン更新積立金(JAしまね定期積立)[1年更新]
金額 2,700,000円
 - 車輛更新積立金(JAしまね定期積立)[1年更新]
金額 6,100,000円
 - 建物修繕積立金(JAしまね定期積立)[5年更新]
金額 2,800,000円
 - 財政調整積立金(JAしまね定期積立)[1年更新]
金額 7,159,618円

6. 社協会費

【会費総額】	2,731,900円(前年度2,703,900円)
【内 訳】	
一般会費	2,606,900円(世帯)(前年度2,578,900円)
特別会費	125,000円 (7社会福祉法人、11地区社協、町老連)
賛助会費	0円

7. 新盆お供え配布事業

【内 容】	令和4年7月1日～令和5年6月30日に亡くなられた方のご家族へ(ローソクセット配布) 178件配布(令和5年度187件)
	羽須美地域 29件 瑞穂地域 59件 石見地域 67件
	町外郵送 23件
	配布方法 事務局長により配布

8. 指定管理施設の維持管理

- ・ 邑南町瑞穂東デイサービスセンター
- ・ 邑南町高齢者生きがい活動センター
- ・ 邑南町高齢者生活福祉センター「安心センターはすみ」
- ・ 福祉用具リサイクルセンター
- ・ ねんりん工房
- ・ 石見デイサービスセンター
- ・ ふれあいプラザ雲海

9. 社会福祉法人・医療法人地域貢献連絡協議会の開催

【開催状況】	令和5年8月9日
【協議内容】	1) 令和4年度活動について ・ 会議開催について 2) 収支報告について 3) その他
【開催状況】	令和6年2月16日
【協議内容】	1) 令和5年度活動について 地域福祉課 地域貢献活動の3つの柱 ・ 福祉教育(福祉マインドの醸成) ・ ボランティア(福祉マイスターの育成) ・ 広報(情報提供・共有・啓発) あんしんサポート事業 手話教室 ファミリーサポート事業 2) 令和6年度活動について 地域福祉課 初任者研修について 3) その他
【協議会メンバー】	医療法人 徳祐会 社会福祉法人石見さくら会・邑智福祉振興会・瑞穂福祉会・おおなん福祉会 島根県社会福祉事業団「緑風園」・邑南町社会福祉協議会 【会長】 藤原 啓二 氏 [緑風園事務局長] 【副会長】 三上佐代子 氏 [徳祐会専務] 【監事】 川久保剛史 氏 [瑞穂福祉会事務局長]

10. 邑南町老人クラブ連合会活動支援

【活動目標】

- 1) 地域高齢者の健康づくり・介護予防活動
- 2) 在宅高齢者やその家族を支援する友愛活動
- 3) 安心・安全の住みよいまちづくりを目指すボランティア

【活動内容】

- 1) グランドゴルフなどのスポーツ活動
- 2) 研修会の実施
- 3) 広報「いずみ」の発刊
- 4) 邑南町総合社会福祉大会
- 5) その他

11. 出張研修

月	開催場所		内 容
4月	出雲市	西部介護保険課ほか	福祉有償運送運転研修
4月	(Zoom)	西部介護保険課	訪問看護研修会
4月	川本町	東部・西部介護保険課	医療と介護現場情報交換会
4月	大田市	東部介護保険課	新型コロナウイルス感染対策研修会
5月	(Zoom)	東部・西部介護保険課	ハラスメント研修
6月	松江市	地域福祉課	ボランティア担当者会議
7月	松江市	総務課	県社協会長会
7月	大田市	総務課	法人指導監査説明会
7月	江津市	地域福祉課	高次脳機能障がい者支援研修会
7月	川本町	居宅介護支援課	郡ケアマネ協会総会・研修会
7月	浜田市	居宅介護支援課	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程「中堅コース」
7月	(Zoom)	西部介護保険課	訪問看護ステーション協会総会・研修
7月	(Zoom)	西部介護保険課	事故防止(リスクマネジメント)研修
7月	(Zoom)	西部介護保険課	訪問看護管理者研修
7月	元気館	西部介護保険課	介護保険制度と自立支援給付説明会
7月	(Zoom)	西部介護保険課	認知症研修会
7月	元気館ほか	全体	邑南町人権同和研修
7月	出雲市	東部介護保険課	島根県老人福祉施設協議会総会
8月	松江市	地域福祉課	福祉教育実践研修会
8月	浜田市	東部・西部介護保険課	デイサービス部会研修会

8月	元気館	西部介護保険課	邑南町防災研修会
8月	出羽公民館	居宅介護支援課	個別避難計画作成研修会
9月	隠岐	総務課	県社協トップミーティング
9月	浜田市	総務課	労務災害研修
9月	松江市	地域福祉課	令和5年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修
9月	松江市	地域福祉課	社協職員研修(中堅)
9月	川本町	居宅介護支援課	R高齢者住まい看取り研修会
10月	松江市	西部介護保険課	島根県老施協研修大会
10月	松江市	西部介護保険課	チームリーダースキルアップ研修
10月	(Zoom)	西部介護保険課	「最期を過ごす場所を考える」研修会
10月	松江市	総務課	令和5年度島根県総合社会福祉大会(3名)
10月	浜田市	総務課	島根県主催社会福祉法人勉強会
10月	出雲市	総務課	労務管理研修
10月	川本町	地域福祉課	生活困窮者自立支援・就労準備支援相談同行支援(2名)
10月	松江市	地域福祉課	社協法人後見ネットワーク会議
10月	松江市	地域福祉課	島根県更生支援コーディネーター養成研修(2名)
10月	川本町	居宅介護支援事業課	邑智郡ケアマネ協会(6名)
10月	江津市	東部介護保険課	防火管理防災管理講習会
10月	浜田市	西部介護保険課	訪問介護計画書・手順書作成のポイント
10月	(Zoom)	東部介護保険課	B C P オンライン研修会(2名)
11月	奥出雲町	地域福祉課	あいサポートメッセージフォローアップ研修(2名)
11月	松江市	地域福祉課	日常生活自立支援事業専門員研修会
11月	(Zoom)	東部介護保険課	B C P オンライン研修
11月	(Zoom)	東部介護保険課	虐待研修 Web セミナー
12月	松江市	地域福祉課	令和5年度社会福祉法人連携セミナー
12月	(Zoom)	西部介護保険課	島根県在宅医療介護研修

12月	松江市	地域福祉課	社会福祉士実習指導者講習会（2名）
12月	出雲市	地域福祉課	ファミリーサポート事業研修
12月	浜田市	地域福祉課	ボランティア団体虹の会バス研修同行（2名）
12月	浜田市	地域福祉課	コミュニティソーシャルワーカー実践研修・実践発表
12月	松江市	地域福祉課	生活困窮者自立相談支援人材養成研修
1月	（Zoom）	西部介護保険課	B C P オンラインセミナー
1月	（Zoom）	西部介護保険課	B C P 作成セミナー 災害・感染症
1月	（Zoom）	居宅介護支援事業課	B C P オンラインセミナー
1月	（Zoom）	居宅介護支援事業課	B C P 作成セミナー 災害・感染症
1月	美郷町	法人全体	令和5年度邑智郡3町村社協職員交流研修会
2月	松江市	総務課	高齢者福祉サービス経営セミナー
2月	松江市	地域福祉課	第2回社協法人後見ネットワーク会議
2月	松江市	地域福祉課	社会福祉士実習連絡会
2月	美郷町	法人全体	邑智郡3町村社協役員研修会
2月	美郷町	地域福祉課	権利擁護研修会（4名）
3月	松江市	地域福祉課	生活困窮者自立支援人材養成研修（2名）
3月	（Zoom）	西部介護保険課	訪問看護研修
3月	大田市	地域福祉課	精神保健医療福祉連絡協議会
3月	川本町	居宅介護支援事業課	令和5年度居宅介護支援事業所集団指導

【地域福祉課】

【地域福祉係】

1. 児童、高齢者・障がい者（児）などの属性や性別年齢を問わず誰もが地域で安心していきいきと生活できる地域共生社会の実現を推進する。

(1). 地域共生社会事業の推進

1) 協議体の運営及び生活支援コーディネーター業務

町委託事業

邑南町地域包括ケアシステムコア会議開催

【開催日時】令和5年5月12日（金）

- 【内 容】
1. 邑南町の地域包括ケアシステムについて
 2. 地域課題の把握から解決の仕組みづくりについて
 3. 今後の進め方

邑南町地域包括ケアシステム推進協議会

【開催日時】令和6年2月15日（木）

【内 容】「見守り」「生活支援」「集いの場」について

第1回邑南町地域ケア推進会議

【開催日時】令和5年8月30日（水）

- 【内 容】
1. 邑南町の地域包括ケアシステムと地域ケア推進会議について
 2. 地域課題の整理

第2回邑南町地域ケア推進会議

【開催日時】令和5年10月27日（金）

- 【内 容】
1. 地域課題の整理
 2. インフォーマルサービスについて

第2層の協議体コア会議

【開催日時】令和5年6月14日（水）

- 【内 容】
1. 地域課題解決の仕組みについて
 2. 地域支え合い会議でできた意見の共有
 3. 今後の方向性

【開催日時】令和5年10月20日（金）

- 【内 容】
1. 今年度の取り組み状況と来年度の方向性
 2. 第1層協議体について

第2層協議体代表者会議

【開催日時】令和5年11月20日（月）

【参加者】第2層協議体代表者、医療福祉政策課、産業支援課、保健課、社協

- 【内 容】
1. 地域の取り組み紹介
 2. 地域課題について

【開催日時】令和5年12月18日（月）

【参加者】第2層協議体代表者、医療福祉政策課、産業支援課、保健課、社協

- 【内 容】
1. 地域課題について
 2. 情報提供

2) 地域包括ケアシステムにおける第2層協議体の推進

【実施状況】

- 5年目 阿須那、口羽、銭宝、井原、日和
- 4年目 市木、田所、高原、日貫
- 3年目 矢上
- 実証試験 口羽、阿須那、銭宝、市木、井原、日和、日貫

3) 「我がごと・丸ごと」の地域づくり

あんしんサポート事業

利用者 1名

あんしんサポート審査会

【開催日時】令和6年3月25日(月)

【内 容】あんしんサポート申込審査について

4) 「助けあい」「支え合い」による住民主体の地域づくり

・優友サポーター派遣活動

【派遣回数】(令和5年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者	9	11	11	11	11	12	10	11	12	11	12	11	132
支援者	9	11	12	11	11	12	10	11	12	11	12	11	133
回数	20	25	27	25	25	24	24	27	26	18	24	22	287

【派遣回数】(令和4年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者	7	8	9	7	7	6	8	7	8	9	9	12	97
支援者	7	8	9	7	7	6	7	6	8	9	9	12	95
回数	17	17	28	23	17	14	21	19	15	14	17	25	227

【活動内容】

話し相手 ゴミ出し 日用品・食品の買い物 掃除ほか

【活動状況】

週1回1時間の訪問活動 500円/1回(利用料)

優友サポーター配分金 800円/1回

本年度の新規の利用者はケアマネより依頼の相談で派遣した案件が多い。

令和5年8月31(木)にサポーター養成講座を実施。

令和6年2月9(金)に交流・意見交換会を実施。

・通院付き添いサポーター活動

【派遣回数】(令和5年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	11
支援者	1	1	2	1	0	1	1	1	1	1	1	1	12
回数	1	2	2	1	0	2	1	3	1	1	1	1	16

【活動内容】

65歳以上の単身世帯、または70歳以上高齢者夫婦世帯に対しての通院付き添いサービス

・通院の付添い・自宅から通院への付き添い(活動者の車への同乗不可・タクシーへの同乗可)

・診察への同席はするが、診療内容等は家族から病院の医師に確認すること。・薬の受け取り

【活動状況】

1時間1,000円(自宅からの付き添い希望の方は移動時間も含む)

サポーター活動費 1時間1,000円

・邑南町産前・産後訪問サポート事業

エンゼルサポート活動

【派遣回数】(令和5年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
支援者	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	2	10
回数	0	0	0	1	2	1	2	2	3	2	1	3	17

【活動内容】

話し相手 子どもの見守り 掃除ほか

月1～2回2時間の訪問活動 500円/1時間(利用料)

300円/1時間(利用料)(ひとり親・多胎児を養育している世帯)

エンゼルサポーター配分金 1000円/1時間

稼働活動者数 3名

【活動状況】

本年度7月から開始となり、利用者は多胎児を養育している世帯。月1～2回を定期的に利用していただいている。

令和5年5月16日(火)にエンゼルサポートに関する地域の説明会を田所公民館にて実施。

令和6年2月19日(月)にエンゼルサポートに関する研修会を元気館にて実施。

・邑南町ファミリーサポート事業

【活動内容】

子どもの預かり 保育所への送迎ほか

羽須美・瑞穂地域を対象地域とし、育児援助を受けたい人(おねがい会員)と援助を行う人(まかせて会員)とのマッチングを行う事業。

【活動状況】

町からの要望により、モデル事業として令和6年2月から準備期間のため実施しているが、令和6年4月より本格的に実施予定。

800円/1時間(利用料)、300円/1食(昼食代)100円/1食(おやつ代)

【登録者状況】

おねがい会員 2名 まかせて会員 23名

令和6年1月15日(月)にファミリーサポートに関する研修会を元気館にて実施。

5) 通所型介護予防事業(楽々教室)

町委託事業

来所頻度 2回/月

【開催回数】 168回(令和5年度より回数を月2回へ変更した。)

〔総合型 楽々教室〕

〔利用者数〕令和5年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
羽須美	9	8	8	9	7	8	6	5	3	5	6	4	78
瑞穂	24	25	25	25	29	27	28	26	29	25	14	30	307
石見	43	40	35	32	35	36	33	37	34	34	33	34	426
計	76	73	68	66	71	71	67	68	66	64	53	68	811

〔利用者数〕令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
羽須美	9	10	10	9	7	7	16	7	5	7	7	7	101
瑞穂	17	24	15	17	15	16	16	20	14	11	11	12	188
石見	29	38	28	25	24	27	35	29	25	19	21	26	326
計	55	72	53	51	46	50	67	56	44	37	39	45	615

6) 訪問型介護予防事業(訪問給食サービス)

町委託事業

栄養バランスのとれた食事の提供に併せ、安否確認を実施した。

〔配食数〕 令和5年度(夜)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
羽須美	178	209	213	189	200	187	188	187	179	172	190	198	2290
瑞穂	240	275	261	252	273	254	284	273	258	237	215	214	3036
石見	267	295	305	303	325	329	344	354	290	284	269	250	3615
計	685	779	779	744	798	770	816	814	727	693	674	662	8941

〔配食数〕 令和4年度(夜)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
羽須美	206	188	224	248	274	262	243	232	198	196	202	225	2698
瑞穂	264	287	268	199	215	232	236	251	230	221	237	270	2910
石見	311	278	267	232	275	262	253	262	232	229	224	253	3078
計	781	753	759	679	764	756	732	745	660	646	663	748	8686

〔配食数〕 令和5年度(昼)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
羽須美	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
瑞穂	68	88	68	69	65	65	77	47	47	53	34	46	727
石見	57	61	76	73	75	73	79	75	86	111	109	98	973
計	125	149	144	142	140	138	156	122	133	164	143	144	1700

〔配食数〕 令和4年度(昼)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
羽須美	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
瑞穂	32	27	43	53	47	44	47	54	54	58	73	83	615
石見	43	31	38	32	36	32	41	56	53	58	62	64	546
計	75	58	81	85	83	76	88	110	107	116	135	147	1161

7) 地域共生社会実現に向けての分析及びニーズ調査

・一人暮らし高齢者の生きがい活動支援

「むくのき会」組織〔羽須美ほたる会・瑞穂いなほ会・石見さつき会〕の事務局として様々な交流を中心とした活動を支援・促進した。

【邑南町全域】

開催月日	内容	内 容
令和5年 4月17日	会長・副会長会	1. 令和4年度事業報告 2. 令和5年度事業計画について 3. その他
令和5年 6月6日	むくのき会総会	1. 令和4年度事業報告 2. 令和5年度事業計画について 3. その他 4. 昼食交流会 5. 「浜田落語協会」による落語(夏風亭志ん悟、沢悠佳、夏風亭あつ晴)
令和5年 9月11日	会長・副会長会	1. 各会の研修旅行、忘年会について 2. おせち料理配食事業について 3. その他

令和5年 11月29日	むくのき会忘年会	1. 令和5年度活動報告 2. 布施公民館 小笠原主事によるレクリエーション 3. 地域ごとによる催し物 羽須美(舞踊 友美会)、瑞穂(大正琴 みずほ)、石見(フラダンス Halau Hula0Lehua`Ula)
----------------	----------	---

【羽須美ほたる会】

開催月日	事業名	内容
令和5年 10月13日	「ほたる会」 研修旅行 *参加者=18名	世羅高原、世羅道の駅、世羅ワイナリー等

【瑞穂いなほ会】

開催月日	事業名	内容
令和5年 9月26日	「いなほ会」 研修旅行 *参加者=20名	君田温泉、道の駅布野

【石見さつき会】

開催月日	事業名	内容
令和5年 8月4日	「さつき会」 研修旅行 *参加者=31名	しまね花の郷、島根ワイナリー、キララ多岐

8)「敬老の日」配分事業(85歳長寿のお祝い・昭和13年生まれ対象)

敬老の日に11地区社会福祉協議会の協力を得て、共同募金配分金を財源に配分事業を実施した。各地区社協や自治会、各施設のご協力を得て贈呈させていただきました。

【配分内容】 額縁入りお祝い状(写真付き)、マルチケース

【地域内訳】 107名 羽須美22名、瑞穂41名、石見44名

9)難聴対策チャイム設置事業

ひとり暮らし高齢者世帯で難聴等による訪問者対応の困難等を解消することを目的として、地域福祉推進事業の収支差益を財源として、「光と音で知らせる」チャイムの無料設置を実施した。

(令和5年度)

地域	羽須美	瑞穂	石見
設置数	0	0	2

(令和4年度)

地域	羽須美	瑞穂	石見
設置数	0	1	2

10)福祉車両貸出

町内在住、高齢者及び障がいのある方に対し社会参加を促進し、在宅生活の質の向上を目指すため福祉車両の貸し出しを行った。

〔貸出内容〕通院・買い物ほか 36件利用

11)生きがいと健康づくり推進

羽須美・石見地域の高齢者の生きがいと健康づくりを目的として、それぞれの活動拠点において当該高齢者グループの自主運営による活動が展開された。

【活動拠点】

〔木工クラブ〕 若返り館 (矢上)

〔陶芸クラブ〕 ねんりん工房(阿須那)

〔ふれあいサロン〕 若返り館 (矢上)

【利用状況】令和5年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
木若	12	7	8	10	11	10	4	2	1	1	0	2	68
陶ね	6	10	9	3	0	7	5	10	5	0	2	0	57
ふサ	25	15	13	9	15	26	15	14	17	11	4	29	193

【利用状況】令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
木若	21	16	12	3	3	12	11	15	6	1	5	18	123
陶ね	12	6	10	5	11	13	7	9	2	4	11	5	95
ふサ	20	19	10	41	30	6	18	3	12	17	3	11	190

*〔木若〕 木工クラブ(若返り館) 〔陶ね〕 陶芸クラブ(ねんりん工房) 〔ふサ〕 ふれあいサロン(若返り館)

12) おおなん奨学資金貸与事業

【新規採用奨学生】	2名
【貸付総額】	8,040,000円(令和5年度)
【償還総額】	3,104,000円(令和5年度)
【総採用奨学生数】	270名
【原資総額】	84,220,010円

13) 災害(火災)援助事業

町内で発生した災害(火災)に対して、災害助けあい募金規程により各集落福祉委員等を通じて取りまとめを実施した。

【被災期日】	令和5年10月12日
【実施件数】	1世帯(邑南町矢上)
【義援金】	944,800円(3,166世帯)

(2). シルバー人材センター事業

1) 会員推移

	4年度末	5月	7月	9月	11月	1月	5年度末	増減
男性	61	62	60	60	60	60	57	-4
女性	7	7	6	6	6	6	6	-1
計	68	69	66	66	66	66	63	-5
	3年度末	5月	7月	9月	11月	1月	4年度末	増減
男性	71	71	70	68	69	66	61	-10
女性	12	10	10	9	8	8	7	-5
計	83	81	80	77	77	74	68	-15

2) 会員内訳 瑞穂13名 石見25名 羽須美25名

3) 受託実績

	令和5年度同期実績			令和4年度同期実績		比較増減	
	請負件数 (件)	請負金額 (千円)	平均金額 (千円/件)	請負件数 (件)	請負金額 (千円)	受託件数 (件)	受託金額 (千円)
公共事業	6	632	105	13	660	-7	-28
公益団体・民間企業	35	519	15	44	580	-9	-61
一般家庭	631	9,776	15	684	9,850	-53	-74
合計	672	10,927	16	741	11,090	-69	-163

4) 請負内容

(単位：千円)

請負作業	件数	請負金額	具体的内容
大工仕事などの工事	1件	19	柵作り、雨樋等の修理
障子張り	1件	13	障子の張替
剪定作業	33件	713	庭木、生垣の剪定
筆耕	6件	73	敬老の日賞状書き
配達	8件	74	社協広報の配達
除草作業	535件	9,039	自宅周辺、墓地周辺、休耕田等
土木作業	0件	0	自宅周辺の残土処理等
農作業	1件	2	除草シート張り、電柵設置等
その他の屋外作業	56件	778	水路掃除、家の周りの片付け
雪かき	1件	2	除雪作業等
蜂駆除	15件	114	蜂の巣の駆除
墓掃除	11件	68	墓石洗い、拭き上げ、花立、墓地整地
屋内清掃作業	3件	21	部屋の片付け、清掃
家事援助	1件	8	家の風通し、部屋、荷物の片付け
合計	672件	10,927	

5) 地域コーディネーター会議の開催

【開催日時】令和5年4月17日(月)午後1時30分～

【開催場所】邑南町社会福祉協議会会議室

【開催内容】1. 令和4年度事業報告

2. 安全・適正就業について

・刈払機飛散防止カバーの装着徹底について。

・ヘルメット、保護メガネの着用徹底について。

3. コーディネーター業務について

4. 業務上での問題・課題

・就業報告書の新様式の記載方法について。

6) 就労的活動支援コーディネーター

制度の狭間で対応できない問題・課題についてシルバー人材センターでマッチングを行い、希望に合った活動をコーディネートすることにより、会員の社会参加を促進した。

(3). 当事者組織・団体等への個別支援

1) 障がい児(者)当事者及び家族会支援

知的障がい児(者)の会「邑南町手をつなぐ育成会」の支援

邑南町内の障がい児(者)及び親に対して、会員同士のつながりや余暇活動など交流の場を提案などしながら事務局を運営。

開催日時	内容	開催場所	参加者
令和5年4月28日(金)	監査会・役員会	邑南町社協	役員5名、職員4名
令和5年6月3日(土)	手をつなぐ育成会総会・交流会	邑南町社協	会員15名 コミュニティ・ボーズ5名 職員6名
令和5年6月24日(土)	チャリティ神楽大会バザー参加	矢上改善センター	会員10名
令和5年11月8日(水)	総合社会福祉大会バザー参加	元気館	会員2名

2. 地域福祉の一層の充実を図るため地区社会福祉協議会や自治会等の活動への支援及び強化を図る。

(1). 地区社会福祉協議会活動の促進・支援

1) 地区社会福祉協議会会長会の開催

町社協から地区社協に要請している事業・活動等についての説明、並びに事業の連絡・調整等々を目的に地区社協会長会を開催した。

開催月日	内 容
令和5年 5月30日	1.地域包括ケアシステムについて 2.小地域福祉活動推進事業助成について 3.ボランティアの養成について 4.敬老の日の配分事業について 3.その他
9月 1日	1.小地域福祉活動推進事業助成について 2.敬老の日配分事業について 3.赤い羽根共同募金運動について 4.邑南町総合社会福祉大会について 5.邑南町ボランティアの日について 6.その他
令和6年3月28日	1.令和6年度社協事業計画について 2.令和6年度地区社協助成について 3.小地域福祉活動推進事業について 4.地区社会福祉協議会活動等の意見交換について 5.その他

2) 地域福祉推進ネットワーク活動

地域福祉の一層の充実を図るため地区社会福祉協議会や自治会等の活動への支援及び強化を図る。

地区社会福祉協議会名	人口	活動費助成額		
		均等〔40%〕	人口〔60%〕	合計
阿須那地区社会福祉協議会	599	109,091	108,471	217,562
口羽地区社会福祉協議会	654	109,091	118,431	227,522
市木地区社会福祉協議会	370	109,091	67,002	176,093
田所地区社会福祉協議会	1702	109,091	308,209	417,300
出羽地区社会福祉協議会	797	109,091	144,326	253,417
高原・布施地区社会福祉協議会	942	109,091	170,584	279,675
井原地区社会福祉協議会	596	109,091	107,928	217,019
中野地区社会福祉協議会	1420	109,091	257,143	366,234
矢上地区社会福祉協議会	2087	109,090	377,927	487,017
日貫地区社会福祉協議会	411	109,091	74,426	183,517
日和地区社会福祉協議会	362	109,091	65,553	174,644
計	9940	1,200,000	1,800,000	3,000,000

3) 「いきいきサロン」の実施状況

自治会エリアを対象として小地域における交流に照準を置いた介護予防を目的とする地域福祉活動としての「いきいきサロン」活動の促進・支援するため、全日・半日開催を対象に助成事業を実施した。

【実施状況（全日開催）】

地区社会福祉協議会	開催地区エリア	開催回数	参加人数
口羽地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出4件〕	上口羽自治会	0回	0
	上田自治会	0回	0
	口羽町自治会	3回	89
	下口羽自治会	6回	116
阿須那地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出1件〕	阿須那自治会	1回	15
	雪田区自治会	2回	37
	宇都井区自治会	0回	0
	戸河内振興会	0回	0
市木地区社会福祉協議会	市木自治会	0回	0

〔マイクロバス貸出0件〕			
田所地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出2件〕	上田所自治会	8回	150
	四つ葉自治会	3回	54
	亀谷自治会	3回	107
	みずほ自治会	8回	104
	西鱒淵自治会	1回	17
出羽地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出1件〕	三日市ブロック福祉委員会	0回	0
	出羽ブロック福祉委員会	9回	396
	久喜ブロック福祉委員会	0回	0
高原・布施地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出2件〕	和田原自治会	11回	422
	高海自治会	3回	69
	銭宝自治会	0回	0
井原地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出2件〕	西区自治会	1回	29
	南区自治会	1回	105
	東区自治会	0回	0
	断魚自治会	0回	0
中野地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出2件〕	中央自治会	5回	54
	西区自治会	2回	42
	茅場自治会	1回	27
	北区自治会	0回	0
矢上地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出1件〕	御謝山自治会	0回	0
	いわみ中央自治会	0回	0
	原山自治会	0回	0
	加茂山自治会	0回	0
	大沢会	2回	53
日和地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出6件〕	桜井自治会	1回	43
	東自治会	0回	0
	中央自治会	2回	62
日貫地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出5件〕	吉原丸子自治会	2回	22
	中央自治会	10回	107
	山の内自治会	2回	21
	福原自治会	3回	41
	春日自治会	10回	48
合 計		100回	2230人

【実施状況（半日開催）】

地区社会福祉協議会	開催地区エリア	開催回数	参加人数
口羽地区社会福祉協議会	上田自治会	0回	0
	下口羽町自治会	8回	141
	口羽町自治会	18回	267
田所地区社会福祉協議会	みずほ自治会	19回	250
	亀谷自治会	1回	21
	西鱒淵自治会	4回	28
出羽地区社会福祉協議会	出羽自治会	0回	0
高原地区社会福祉協議会	和田原自治会	0回	0
	高海自治会	1回	22

井原地区社会福祉協議会	西区自治会	2回	55
中野地区社会福祉協議会	中央自治会	5回	44
	北区自治会	0回	0
矢上地区社会福祉協議会	いわみ中央自治会	4回	100
	大沢自治会	1回	26
合 計		63回	954人

(2) 小地域福祉活動(おおなん流)推進事業

1) 地域(地区社協、自治会等)における小地域福祉活動の推進を図り、「みんなで支えあい 笑顔で安心して暮らせる 地域づくり」を目指すことを目的として助成を行った。

1. 加茂山自治会
 2. 日貫地区社会福祉協議会
 3. 市木地区社会福祉協議会
- 1 団体あたり 20 万円を上限として助成

3. ボランティアセンターの基盤強化を図り、ボランティア活動を中心に福祉活動に参加する住民への支援と強化を図る。

(1) ボランティアセンター事業

1) 「邑南町ボランティアの日」の環境美化活動

「邑南町地域福祉推進月間」に合わせ 11 月 11 日(土)に「邑南町ボランティアの日」として環境美化活動を中心とした活動を実施しており 464 名の参加とご協力をいただいた。

実施団体	実施内容	参加人数
阿須那地区社会福祉協議会	環境美化活動	100人
口羽地区社会福祉協議会	環境美化活動	30人
市木地区社会福祉協議会	環境美化活動	40人
田所・出羽地区社会福祉協議会	環境美化活動	82人
高原・布施地区社会福祉協議会	環境美化活動	16人
田所地区社会福祉協議会	環境美化活動	16人
井原地区社会福祉協議会	環境美化活動	21人
中野地区社会福祉協議会	環境美化活動	54人
矢上地区社会福祉協議会	環境美化活動	68人
日和地区社会福祉協議会	環境美化活動	16人
日貫地区社会福祉協議会	環境美化活動	21人

2) 登録ボランティアの状況

ボランティア活動団体

個人ボランティア

【登録団体数】 27 団体

【登録会員数】 412 人

【登録会員数】 14 人

3) ボランティア団体代表者連絡協議会

令和5年9月20日(水) 高原公民館ホール

参加団体: 5 団体

4) ボランティアセンター連絡・調整(相談・紹介・支援ほか)業務等

【活動支援】

- | | |
|-------------------|--------|
| 1, ボランティア活動保険加入者数 | 615人 |
| 2, ボランティア行事保険加入者数 | 7,196人 |
| 3, 福祉サービス総合補償加入者数 | 412人 |
| 4, 送迎サービス保証加入者数 | 100人 |
| 5, 事故報告件数 | 1件 |

〔個人ボランティア〕

配食サービスに月1回絵手紙を添える活動(1回約80通)〔のぎくの会〕

耳の聞こえに不安を持つ方の社会参加と、個別支援を目的に月1回開催。交流会、情報交換

の場として役割を担っている。要約筆記サークル「瑞穂かけはし」

【活動派遣】

島根県立石見養護学校（生徒）社会参加活動

延回数 1回

内容 除草活動ほか

場所 中野地区 絆ロード周辺

目的 活動を通じ地域に貢献することの必要性の醸成、啓発を目的に実施

5) ボランティア活動資金の助成

ボランティア活動を通じて、青少年健全育成や地域交流活動、高齢者・障がい者、子育てサポート活動等を積極的に行う団体を支援することを目的として、10団体に助成を行った。

【助成団体】

〔高齢者・障がい者支援ボランティア団体〕

「スムーズ市木」「ゆびの輪会」「あいサポートメッセンジャー虹の会」

〔子育て支援ボランティア団体〕

「口羽地区読み聞かせボランティア」「ちいさなろうそくの会」

〔地域支援ボランティア団体〕

「中野明日の会」「花はなクラブ」「花和会」「くにびき学園OB 邑智会」「はすみまもるん隊」

(2) ボランティアの育成及び講座の開催

○ボランティア養成講座

社協活動・地域活動応援団づくりをテーマに暮らしの中にある小さなつながりやすすでにあるもの・できていることに目を向け、お互いに気にかけて仲を育み「支え合い」「助け合い」「学び合い」ができる地域共生社会の実現を目指して開催。

令和5年7月8日(土) 13:00～16:00 田所公民館

・島根県内の地域づくりの状況

講師：島根県社会福祉協議会地域福祉部 景山 俊太郎氏

・『つながり・気にかけて・支え合う』地域づくりに必要なこと

講師：東北福祉大学総合マネジメント学部 教授 高橋誠一氏

参加者 58名

○福祉教育サポーター研修

令和5年8月27日(日) 9:30～15:00 健康センター元気館

・おやこで障がい者スポーツ体験

講師：島根オロチビート浜田

・視覚障がいとは

講師：西部視聴覚障害者情報センター 柳井氏

参加者：22名

○優友サポーター養成講座

令和5年8月31日(木) 高原公民館

・優友サポーターとは

・助け合いゲーム

参加者：15名

支え合いボランティア研修会の開催

邑南町医療福祉政策課・保健課との共催で、自分自身の振り返りと行動変容の動機づけ、地域のあらゆる資源への興味関心を持ってもらい社会参加のきっかけづくりになることを目的に実施。

令和5年9月22日(金) 田所公民館

『認知症予防はお口から、お口の健康習慣を極めよう』

大田地区歯科衛生士会会長 吉田 ちかみ氏

『作業療法士直伝 笑って動いて認知症予防！』
 作業療法士 種 宏樹 氏

4. 誰もが安心して子育てができる環境を整備するとともに、小地域活動の担い手や専門的人材など後進の育成のため、地域住民や子供たちが福祉事業・活動を通じて、身近に福祉を体験できる福祉教育を推進する。

(1). 児童・青少年福祉の推進

1) 学童生徒の福祉教育推進

次代を担う子どもたちが福祉事業・活動を通じ福祉意識の啓発、ボランティア活動に関する理解な教育現場と一体となって推進した。

【開催状況】

実施日	実施団体	対象者数	内容
5月23日	矢上高校3年1組	5名	”ふくし”とは導入講座
6月8日	矢上高校3年1組	5名	あいサポート研修
6月11日	矢上高校3年1組	5名	認知症サポーター研修
6月12日	矢上高校3年3組	11名	高齢者疑似体験
6月12日	矢上高校3年3組	10名	介護予防教室見学
6月15日	矢上高校3年1組	5名	ヤングケアラー
6月18日	矢上高校3年1組	5名	認知症サポーター研修(2回目)
6月19日	矢上高校3年3組	11名	あいサポート研修
6月22日	矢上高校3年1組	5名	邑南町の子ども施策について
6月22日	矢上高校3年3組	11名	”ふくし”とは導入講座
7月6日	矢上高校3年1組	5名	子育てサロンこぐまクラブ交流会
8月9日	コミュニティ・ボンズ	19名	“ふくし”とは導入講座・シトラスリボン作り
9月1日	石見養護学校	30名	車いす利用者の避難訓練
9月6日	羽須美中学校1年	11名	高齢者疑似体験・車いす体験
9月7日	羽須美中学校1年	11名	施設見学・交流
9月7日	瑞穂中学校1年	26名	“ふくし”とは導入講座
9月14日	矢上高校3年1組	5名	いのち輝く沐浴体験学習
9月14日	瑞穂中学校1年	26名	高齢者疑似体験・車いす体験
9月15日	瑞穂小学校3年	27名	“ふくし”とは導入講座
9月21日	矢上高校3年1組	5名	いのち輝く沐浴体験学習(2回目)
9月25日	矢上高校3年3組	11名	寄り合い処事業交流
10月11日	石見東小学校2年	10名	みんなでかんがえよう。自分たちにできること
10月12日	瑞穂中学校1年	26名	視覚障がいについて
10月16日	矢上高校3年3組	11名	老人クラブ交流会 グラウンドゴルフ
10月17日	瑞穂小学校3年	27名	年をとるってどんなこと?
10月19日	矢上高校3年1組	5名	ふくしに関わる大人の姿
10月24日	矢上高校3年1組	5名	高齢者疑似体験
10月26日	矢上高校3年1組	5名	車いす体験
10月30日	矢上高校3年3組	10名	車いす体験・アイマスク体験
11月6日	矢上高校3年3組	11名	いのち輝く沐浴体験学習
11月9日	矢上高校3年1組	5名	いのち輝く沐浴体験学習
11月15日	矢上高校3年3組	11名	相談専門職
11月16日	矢上高校3年1組	5名	矢上高校サロン(老人クラブ交流)
11月16日	福原自治会	15名	アイマスク体験
11月24日	瑞穂地域民生委員	20名	アイマスク体験・白内障体験
12月4日	矢上高校3年3組	10名	邑南町の未来について

12月11日	矢上高校3年3組	11名	子育てサロンこぐまクラブ交流会
令和6年1月19日	市木小学校・PTA	19名	高齢者疑似体験、車椅子体験
令和6年1月24日	石見中学校2年生	37名	高齢者疑似体験、車椅子体験
令和6年1月31日	石見中学校2年生	37名	ふだんのくらしのしあわせ
令和6年2月6日	瑞穂小学校3年生	18名	車椅子体験

2) 子育て支援サービスの研究と他機関との連携

・子育てサロン事業

瑞穂・石見地域でそれぞれ開設している地域ボランティアグループによる「地域子育てサロン」の参加促進活動、広報活動等の支援を行った。

対象地区	開催場所	開催回数	延べ参加者数	実践者
石見	矢上公民館 井原公民館	10回	108人	子育て支援ボランティア 「こぐまクラブ」 代表 大田浩美
瑞穂	元気館	8回	105人	子育て支援ボランティア 「ドレミファクラブ」 代表 洲浜妙子

* 瑞穂地域子育てボランティアについては、町外からの参加者もあり新型コロナウイルス感染防止の観点から休止をしている。

3) 「あいサポーター運動」の推進

町民誰もが「障がいをもっと知る・理解する」を目的として、平成23年度より島根県社会福祉協議会が実施する「あいサポーター研修」運動を要請に基づき開催した。サポーター研修の修了書が欲しい意見があり、修了証をカードサイズで作成。おおなん版あいサポーターマークを作成（県には確認済）。

【開催状況】

実施日	受講団体	受講者数	内新規
4月4日	社会福祉法人邑智福祉振興会愛香園	12	12
4月24日	白寿会	18	18
4月27日	あゆみの会	15	15
6月8日	矢上高校3年1組家庭科福祉選択生徒	5	5
6月19日	矢上高校3年3組家庭科福祉選択生徒	11	11
6月14日	龍和会	14	14
7月11日	東部寿朗会	13	13
7月18日	地域みらい課 おおなんバス等運行业者	3	3
7月27日	地域みらい課 おおなんバス等運行业者	3	3
8月1日	地域みらい課 おおなんバス等運行业者	2	2
8月21日	邑南町民 邑南町社協開催	6	6
8月24日	老連理事会	14	14
10月13日	西鱒淵運動教室	7	7
11月22日	邑南町民生児童委員協議会 瑞穂支部	19	19
	計	130	130

* 延べ受講者数2,007名

4) サマーボランティアスクールの開催

1. 施設体験型

このサマーボランティアスクールは、青少年を取り巻く環境が一層深刻化するなかで、人を思いやる心を育む機会をつくり、子どもたちが自らの意思で参加して、自分たちが主体的に福祉に関われる場を提供したいとの思いで、町内の福祉施設等の協力を得て開催した。

- 【開催期間】 令和5年7月26日～8月18日まで
 【開催場所】 町内受入依頼施設＝16施設（保育所・高齢者・障がい者等福祉施設等）
 【参加者】 町内小・中学生〔67名〕（令和2年度・3年度中止、令和4年度 54名）
 【開催内容】 施設ボランティア体験
 【受入施設】 東保育所、いわみ西保育所、日貫保育所、小規模多機能ホームこもれび
 希望の郷、香梅苑、さつきの園、ケアセンター三笠
 はぁもにいはうす、高原保育園、出羽保育園、東光保育園
 市木保育園、阿須那保育所、口羽保育所
 社協介護予防デイサービス

学 校 名	参加希望人数	学 校 名	参加希望人数
阿須那小学校	1人	矢上小学校	3人
口羽小学校	2人	日貫小学校	1人
市木小学校	7人	羽須美中学校	0人
瑞穂小学校	13人	瑞穂中学校	18人
高原小学校	14人	石見中学校	6人
石見東小学校	2人	合 計	67人

5. 各種関係機関との協働による新規事業の研究・検討の実施。

(1). 共同募金事業

1) 第6回チャリティグラウンドゴルフ大会〔邑南町共同募金委員会として協力〕

啓発を兼ね楽しく募金活動へ参加できるイベントとして開催。

- 【開催場所】 邑南町青少年旅行村
 【開催期日】 令和5年6月27日（火）
 【参加者】 49名
 【募金総額】 73,928円

2) 第17回邑南町チャリティ神楽大会〔邑南町共同募金委員会として協力〕

- 【開催期日】 令和5年6月24日（土）午後5時～午後11時
 【開催場所】 矢上農村改善センター
 【幹事神楽団】 日貫地区神楽団
 【出演神楽団】 山之内、井原、高原、中野大元、日和大元、出羽
 【募金総額】 501,249円

3) 邑南町青少年スポーツ活動支援事業助成〔邑南町共同募金委員会助成〕

町内でスポーツ活動・育成・交流等を積極的に試みようとする団体を支援するため、必要な物品の購入に対し6団体に助成を行った。

- 【助成団体】「少林寺空手邑南支部」「田所剣道スポーツ少年団」「デッツォーラ島根 EC U12・15」
 「瑞穂スポーツ少年団野球部」「石見ファイターズ」「はすみスポーツ少年団」

4) 共同募金配分金事業〔社協配分事業〕

令和4年度の募金実績額に対し、島根県共同募金会より配分金を受け、次の事業を実施した。

- 【配分金】 3,347,673円
 ・高齢者福祉推進事業〔敬老の日配分事業〕
 ・相談事業〔法律相談事業等〕
 ・福祉教育推進事業〔サマーボランティアスクール等〕
 ・住民全般福祉推進事業〔広報「おおなん社協」発刊〕小地域福祉活動事業
 ・邑南町青少年スポーツ活動支援事業〔邑南町共同募金委員会より直接助成〕

5) 歳末たすけあい事業〔社協配分事業〕

令和5年度歳末たすけあい募金（世帯募金）実績額に対し、島根県共同募金会より配分金を受け次の事業を実施した。

- 【配分金】 1,000,000円

1, おせち料理配食事業

お正月に家族の帰省がなく年越しを一人で過ごされる一人暮らし高齢者を対象に、邑南町民生児童委員協議会との共催事業として「おせち料理」の配食を行った。

【配食期日】 令和5年12月31日(日)

【助成金額】 1,500円(3,500円のうち2,000円を利用者が負担)

【配食数】 199食(羽須美53 瑞穂65 石見81)

2, 地域歳末交流会〔地区社会福祉協議会等に助成〕

地区社協単位に近年の地域状況(過疎化、核家族化の進行、人間関係の希薄化、一人暮らし高齢者の増加等)を踏まえ世代と世帯間交流(児童・生徒との交流)と一人暮らし高齢者・障がい者世帯等にお正月用のお餅を配食する事業として活動費の助成を行った。

【助成額】

地区社会福祉協議会名	人口	活動費助成額		
		均等〔40%〕	人口〔60%〕	合計
阿須那地区社会福祉協議会	599	25,455	25,310	50,765
口羽地区社会福祉協議会	654	25,455	27,634	53,089
市木地区社会福祉協議会	370	25,455	15,634	41,089
田所地区社会福祉協議会	1702	25,454	71,915	97,369
出羽地区社会福祉協議会	797	25,454	33,676	59,130
高原・布施地区社会福祉協議会	942	25,454	39,803	65,257
井原地区社会福祉協議会	596	25,455	25,183	50,638
中野地区社会福祉協議会	1420	25,454	60,000	85,454
矢上地区社会福祉協議会	2087	25,454	88,183	113,637
日貫地区社会福祉協議会	411	25,455	17,366	42,821
日和地区社会福祉協議会	362	25,455	15,296	40,751
計	9940	280,000	420,000	700,000

6. 町民の皆様へ社協(町社協・地区社協)活動を知ってもらい福祉意識を啓発していく。

(1). 広報活動の推進

1) 広報「おおなん社協」の発行

福祉意識の啓発並びに説明責任を果たすべく社協情報・福祉情報等の提供に努めた。

発行月	発行
5月	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度事業計画について 令和5年度事務局機構図について 100歳のお祝い、くにびき学園公開講座 令和5年度社協会費のお願いについて 寄付金のお礼、絵手紙、相談会のお知らせ 邑南町チャリティ神楽大会について
7月	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度事業報告について 令和4年度決算報告について 令和5年役員改選のお知らせ 会長退任、就任のご挨拶、評議員の交代について チャリティ神楽、チャリティグランドゴルフ、邑南町手をつなぐ育成会 社協会費のお礼について 寄付金のお礼、安心センターはすみ入居者募集について
9月	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサロンについて コミュニティ・ボンズ、エンゼルサポートについて 邑南町総合社会福祉大会、ボランティアの日について 赤い羽根共同募金運動、敬老の日配分事業について 実習生の受入れについて

	<ul style="list-style-type: none"> ・「さつき会」研修旅行、デイサービスだよりについて ・寄付金のお礼、相談会のお知らせ、絵手紙紹介
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉教育について ・奨学資金貸与事業、100歳のお祝い、デイサービスだよりについて ・地域づくり研修会について ・いなほ会、ほたる会研修旅行について ・ひとり暮らし高齢者の会「むくのき会」忘年会、おせち料理の配食について ・寄付金のお礼、絵手紙紹介、小地域福祉活動募集について
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・新年のご挨拶 ・ボランティアの日について ・第18回邑南町総合社会福祉大会について ・むくのき会忘年会について ・おせち料理配食事業、地域歳末交流会について ・安心生活支援事業、NHK歳末たすけあい助成について ・福山平成大学実習、デイサービスだよりについて ・寄付金のお礼等について
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金運動 ・法人募金寄附者一覧について ・ボランティア団体支援事業について ・コミュニケーション麻雀について ・しまそこについて ・寄付金のお礼、デイだより、絵手紙紹介について

2) ホームページの拡充、管理

同様の内容や社協情報・福祉情報等の提供に努めた。

3) 邑南町ケーブルテレビ事業との連携

社協事業のお知らせ等を行った。

4) SNS等を活用した広報活動の研究・検討

研修会や養成講座等の参加申し込みを行った。

【生活支援係】

1. 総合相談事業

近年の核家族化や地域社会の変化等に伴い、従来あった家族の自助機能や地域社会の共助機能の低下より多様化・複雑化・専門化の傾向にある住民の抱える生活・暮らしの問題・課題等を解決に導くため「合相談センター」で、相談員 10 名体制と専門相談体制で様々な相談対応を行った。

【相談状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般	14	18	31	22	5	12	18	9	13	15	13	18	188
弁護		10		10		3		4		5		3	35
司法	5		5		8		3		4		8		33
教育				4									4
〔一般相談〕〔188件〕				〔専門相談〕〔68件〕				〔教育相談〕〔4件〕					
高齢者福祉	25	金銭 貸借	4	土地 家屋	5	交通 事故		教育相談	4				
生 計	38	専門職紹介	5	相続 関係	22	家族 問題	1						
職業・生業	11	権利 擁護	21	金銭 問題	17	生活 保護							
生活 困窮	13	健康・精神衛生	49	高齢者福祉		遺 言	1						
滞納 関係	5	交通 事故	2	成年 後見	3	登 記	5						
児童 福祉	1	介護 機器	0	離 婚	2	死後 事務							
苦 情	0	資金 貸付	2	隣人トラブル		労働 問題	1						
家族 関係	11	その他	1	権利 擁護	8	その他	3						

2. 邑南町権利擁護センター事業

高齢者や障がい者の意思能力や生活状況に応じて、成年後見制度や日常生活自立支援事業等を活用し、財産管理や身上監護を中心とする権利擁護サービスを提供し、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援することを目的として事業を行った。

1) 運営委員会の開催

- 【日 時】 令和 5 年 6 月 23 日（金）
 【開催場所】 邑南町社会福祉協議会（本部）
 【協議事項】 1. 令和 4 年度事業報告について
 2. 令和 5 年度事業計画について
 3. その他：意見交換（今後の権利擁護支援の在り方について）

【運営委員】

委員名	職 名	備考
小笠原誠治	邑南町役場福祉課課長	委員長
阪田 健嗣	石見成年後見センター運営委員	副委員長
井川 隆英	島根県社会福祉士会	
下田 浩士	邑智福祉振興会「愛香園」	
東 正志	おおなん福祉会「ハートフルみずほ」	
石橋 純二	邑南町社会福祉協議会会長	

2) 権利擁護に関する相談及び成年後見制度の手続き支援

- 【相談件数】 2, 1 5 3 件〔成年後見 1500 件、日常生活自立支援 653 件〕
 【手続支援】 1 3 件〔法定後見 12 件、任意後見 1 件〕
 【受任件数】 2 6 件〔後見 13 件、保佐 12 件、補助 1 件〕

3) 権利擁護サービスの提供〔日常生活自立支援事業〕

- 【契約件数】 2 件（総件数 1 5 件）
 【権利擁護支援員】 4 9 名

4) 審査委員会の開催

【開催数】 3回
 【審査件数】 4件〔専門職受任件数2件〕

【審査委員】

委員名	職名	備考
三上 洋司	行政書士	委員長
服部 卓夫	社会福祉士	
植田 弘樹	司法書士	
三上 瑞恵	邑南町役場福祉課	
南原 美穂子	邑南町役場福祉課	
甲村 正樹	邑南町社会福祉協議会事務局長	副委員長
渡邊 健二	邑南町社会福祉協議会地域福祉課課長	
長尾 順恵	邑南町社会福祉協議会担当職員	
日高 夏海	邑南町社会福祉協議会担当職員	

5) 邑南町権利擁護センター支援員養成講座の開催

町民を対象に権利擁護事業の周知・啓発並びに権利擁護業務等の実践者を要請することを目的として、権利擁護センター支援員養成講座を開催した。

養成講座

【日時】 令和5年9月2日(土)
 【開催場所】 田所公民館 農林研修室
 【受講者数】 19名
 【登録者数】 10名

【カリキュラム】

9:30~10:00	【権利擁護(けんりようご)って何?】 邑南町社会福祉協議会 地域福祉課生活支援係
10:00~10:20	【誰ひとり取り残さない町づくり】 邑南町役場 医療福祉政策課 南原美穂子氏
10:30~12:00	【権利擁護を必要とする人ってどんな人?】 講師:さかた社会福祉士事務所 社会福祉士 阪田健嗣氏
13:00~14:30	【成年後見制度ってどんな制度?】 講師:はまだ市民法律事務所 弁護士 本家泉衣氏
14:40~15:10	実践事例報告【自分で選び、自分で決めた生活を ~本人を中心とした意思決定支援とは?~】 ファシリテーター:阪田健嗣氏 支援計画作成者:〔石見さくら会 桃源の家〕 介護支援専門員 板屋浩明氏 〔島根県社会福祉事業団 緑風園〕 相談支援専門員 加茂淳一氏
15:15~15:45	【活動紹介】 権利擁護支援員:大山英子氏、能美恭志氏
15:45~16:00	まとめ

実稼働者数 15名

6) 権利擁護制度啓発セミナーの開催

広報啓発や未活動養成者への意識醸造を目的とし、権利擁護制度啓発セミナーを開催した。

【日時】 令和6年2月14日(水)
 【開催場所】 高原公民館 大ホール
 【受講者数】 16名
 【プログラム】

14:30~15:30	【講義:思いを引き出すアプローチとは】
15:40~16:30	【事例検討会:あらゆる意思決定場面への対応】 講師:さかた社会福祉士事務所 社会福祉士 阪田健嗣氏

3. 生活困窮者自立相談支援事業

1) 平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法が全国（福祉事務所を設置する自治体）で施行され、生活保護受給者以外の生活困窮者に対する「第2のセーフティネット」を拡充するもので、生活保護に至る前の段階から支援を早期に行う事業として展開した。

【相談受付状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談受付	2	1	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	7
新規作成	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	4
終結中断	0	3	4	0	2	0	0	2	0	0	3	0	14
更新作成	3	0	5	1	1	3	2	2	2	1	1	2	23

【総支援件数】48件（実件数）

【計画支援件数】26件（実件数）

【就労準備支援事業】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規作成	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	6
終了中断	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
更新作成	3	2	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	18

【自立支援対象者 年代性別内訳】

性別	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	プラン作成〔同意〕
男性	0	3	1	2	3	9	23件
女性	0	1	2	1	0	1	

【相談経路】

本人（来所）	本人（電話・メール）	家族・知人（来所）	家族・知人（電話）
1件	1件	0件	0件
民生委員	保健師	福祉事務所	他相談事業所
1件	0件	0件	2件
当法人が把握	公共職業安定所	地域包括支援センター	医療機関
1件	0件	1件	0件

【支援回数】462回（延べ回数）

2) 「フードバンクおおなん」の実施

家庭に眠っている食品等を寄贈していただき、生活に困窮している方に無償で提供した。

【提供件数】38件

3) 「おおなんレスキュー事業」の実施

既存制度で対応できない複合化した様々な生活問題・地域課題（生活困窮的課題）において、その“制度の狭間”の生計困難となった方等へ対応するために、相談及び生活支援事業等に取り組み、緊急切迫した需要に対し現物給付を行なった。

【給付件数】1件

【対応用例】食料支援、衣類等、住居確保、就職活動経費等

4) 就労準備支援事業

就労に必要な実践的な知識・技術等は欠けているだけではなく、複合的な課題があり、生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下しているなどの理由により直ちに就労することが困難な方に、一般就労に従事する準備として基礎能力の形成を計画的かつ一貫して支援を行った。

【プラン作成件数】6件

【延べ支援回数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
農福活動	2	17	22	8	17	18	6	15	0	0	0	0	105
地域活動	13	7	12	13	12	14	15	7	12	5	17	8	135
就労体験	26	28	27	27	26	29	22	21	22	22	20	22	292
就労定着	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	26
生活支援	4	7	6	7	6	7	6	7	5	6	4	6	71

5) 家計改善支援事業

家計表等のツールを活用し相談者自らが家計の状況に見える課題を把握することで、家計の再生に向けた具体的な方針を立て、自ら家計管理ができるように支援を行った。

【プラン作成】 4件

6) 当事者家族会（コミュニティボズ）の支援活動

属性や性別年齢を問わず、何らかの理由で生きづらさがあり地域社会とのつながりが困難で日常生活に不安を感じておられるかたが、気軽に相談できる場所や趣味、余暇を通じての交流活動を実施し、地域社会への第1歩を踏み出せるように寄り添い型の伴走支援を行った。

【実人数】 19名 【延べ人数】 240名

【利用者】 ・引きこもり・閉じこもりの方
・介護保険サービスや障がい者制度など既存の制度につながない方
・既存の制度やサービスでは対応できない方

7) 一時生活支援事業

緊急な事態により起居の場所、食の確保等が困難になり、最低水準の生活が担保されない対象に、その生活拠点を提供し相談支援を介在させることで、社会的困窮・経済的困窮あるいはその両方からの回復を支援する事業を行った。

【実施件数】 0件

【対応内容】 4か所の宿泊施設を確保している。

4. 生活支援事業

1) 生活福祉資金取扱状況

他の貸付制度が利用できない低所得世帯、あるいは障がい者や高齢者のおられる世帯に対し、民生児童委員や社会福祉協議会が協力してその相談に応じ、経済的な安定や社会参加、在宅福祉を推進する目的で貸付け業務を行った。

年度当初取扱件数	68件	教育支援費 / 13件 就学支度費 / 14件 福祉費 / 4件 療養介護等資金 / 1件 緊急小口 / 19件 総合支援資金 / 17件
3月末取扱件数	45件	教育支援資金 / 16件 福祉費 / 4件 療養介護等資金 / 1件 特例貸付（緊急小口・総合支援資金） / 24件
資金相談件数	228件	生活福祉資金についての相談

2) 民生融金取扱状況

低所得世帯に対し、生活に緊急必要な一定の資金を貸し付けし、その福祉増進を図ることを目的として貸付業務を行った。

令和5年度当初		令和5年度中（R5/4/1～R6/3/31）			
貸付		新規貸付		償還	
人数	金額	人数	金額	人数	金額
0	0	1	30,000	1	30,000

3) 安心生活支援事業

生活に困窮している方が、安心して年越しできるよう食料品等を現物支給した。（当事者会の運営による）

【支給日】 令和5年12月末

【対象者】 12名（生活困窮者自立支援計画策定）

4) 福祉系大学実習生受け入れ

「社会福祉体験実習」では、地域における福祉課題、生活課題把握、社会福祉士の役割、関係機関との連携、地域福祉の必要性について学び、体験し理解を深めることを目的に実施。

【実習期間】 令和5年8月7日～9月8日(24日間)

【実習場所】 邑南町社会福祉協議会(各所)

【実習生】 福山平成大学福祉健康学部福祉学科
4年 片山透弥、後藤俊弥

【居宅介護支援事業課】

【居宅介護支援事業所】

【基本方針】

介護保険法の理念に基づき、利用者が可能な限り住み慣れた地域において、心身の状況その置かれている環境に応じて、適切な保健・医療・福祉サービス等が受けられるように、各事業者と連携して、自立した生活を送れるような居宅サービス計画（ケアプラン）の作成等を行った。

【事業目標】 ケアマネジメントの充実と介護支援専門員の資質向上を図る

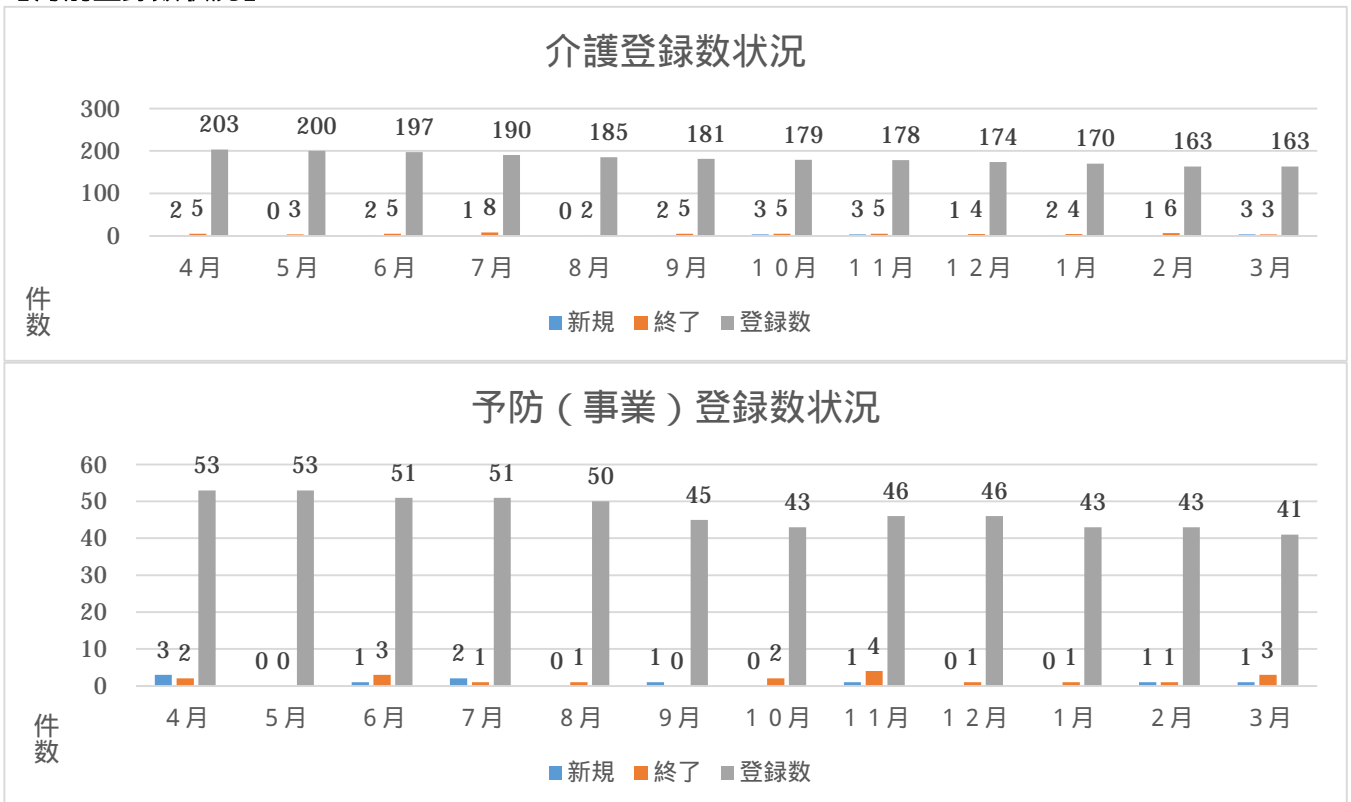
担当数の適正化

- ・介護支援専門員7名、職員一人あたり35件を目標として調整を行ってきた。なお、業務の状況を見ながら新規受け入れ（介護）を行った。また、現在利用者家族については予防（委託）の受け入れも行った。

【新規契約、終了数】（前年度比較）

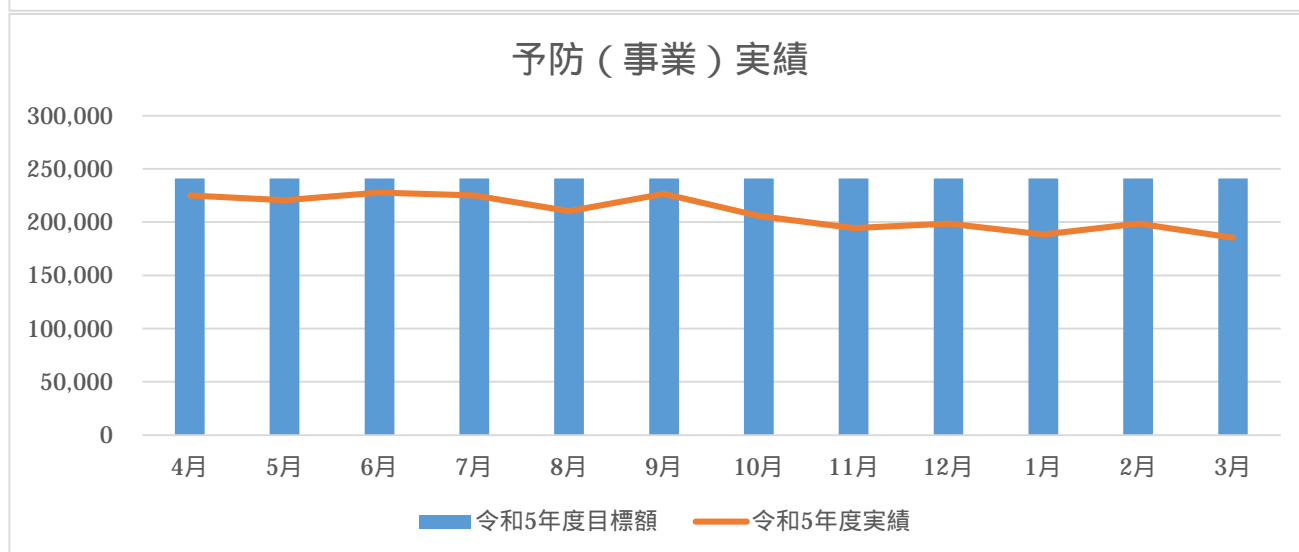
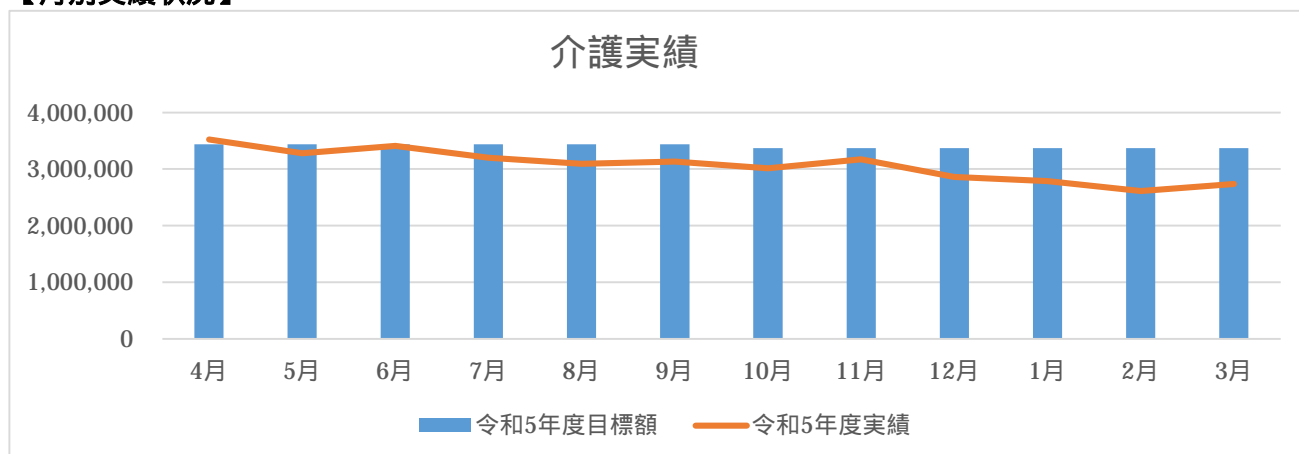
	【介 護】		【予 防】	
	新規契約者	契約終了者	新規契約者	契約終了者
令和5年度	17	54	10	16
令和4年度	28	66	9	22

【月別登録数状況】



*登録者数の中に毎月10～15件程度、入院・入所などでサービス利用が無く、計画費の実績がない場合がある。

【月別実績状況】



【地域別利用者数】

	瑞穂地域	石見地域	羽須美地域
地域別利用者数	34名	73名	65名
担当ケアマネ数	5名	5名	3名

- ・本部を拠点に7名それぞれ複数地域を担当しケアプラン作成等の業務を行った。
- ・本部拠点で地域によって移動距離が異なるため、システムキーを活用し各センターにおいても業務が行えるよう効率化を図った。

質の高いケアマネジメントを推進する観点から特定事業所加算 を算定

特定事業所加算算定要件

- ・ **職員の配置** 専従の主任介護支援専門員1名以上、介護支援専門員3名以上が必要
(主任介護支援専門員4名、介護支援専門員3名)

- ・ **24時間連絡体制・相談対応体制の確保**

携帯電話に転送し、職員が1週間交代で対応した。

	利用者対応（件）	事業所等への連絡（件）
平日営業時間外	35	3
土日祝祭日	60	20
計	95	23

・**会議等の参加と週1回の事業所内会議の開催**

- ・事業所内会議を毎週1回開催
- ・東部介護保険事業所・西部介護保険事業所連絡調整会議、サービス事業所との会議 各月1回
- ・地域包括支援センター主催 地域ケア会議出席 2ヶ月に1回
- ・地域開業医との会議 毎月1回

・**介護支援専門員実務研修における実習生の受け入れ**

1名受け入れ 総時間数 18時間 主任介護支援専門員4名で対応した。

ケアマネジメントの充実

- ・居宅介護支援業務マニュアルの作成を行った。(新任育成、実習生指導資料)
- ・地域別フォロー会議の開催
2ヶ月に1回、地域別に利用者の状況などの情報共有
- ・地域福祉課との地域ニーズ会議の開催 2ヶ月に1回
- ・業務継続計画の作成
計画作成のための研修受講(ZOOM) 2回
事業所内で作成のためのチームを作り、計画及び必要な様式の作成等検討した。

【福祉用具貸与・販売事業所】

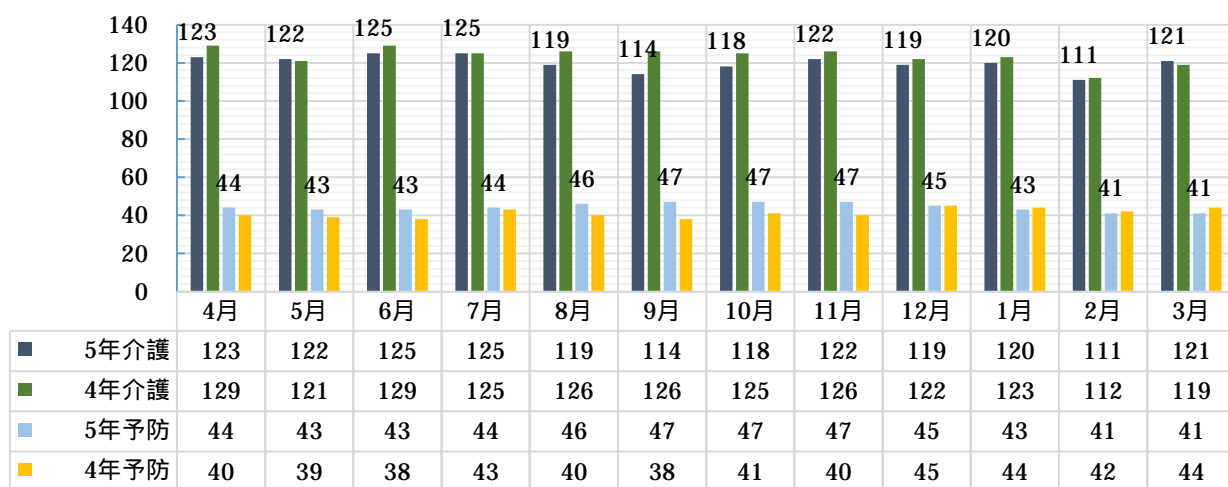
【基本方針】

在宅で自立した生活の継続、介護者の方の負担軽減等を目的として利用者の心身の状態、希望、環境等を踏まえ、適切な福祉用具の紹介・選定、援助を行った。介護認定を受けておられない方等についても必要に応じて一般レンタルとして対応した。

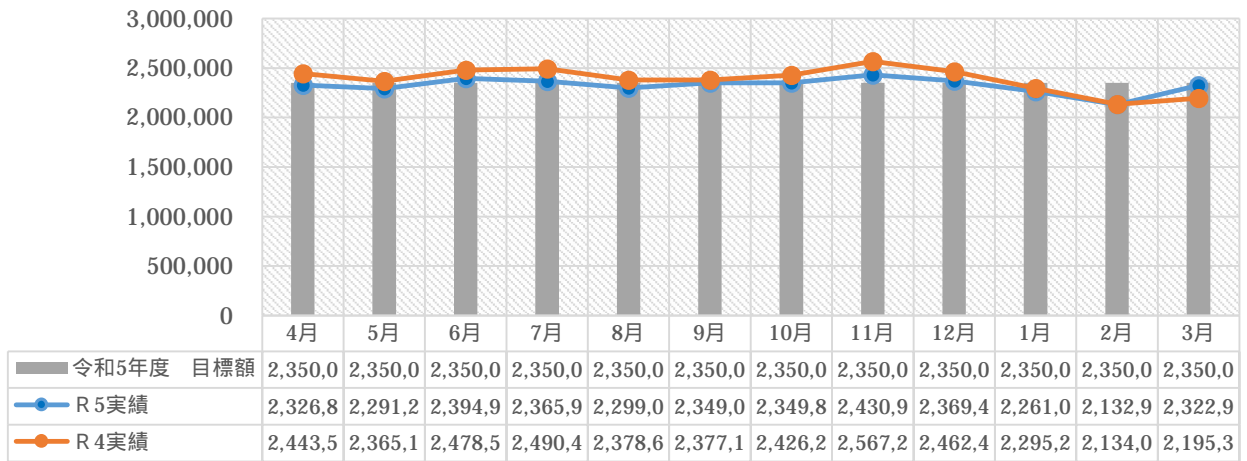
【介護保険】

		令和5年度目標	3月末時点の数値
介護保険利用者	介護	130名	121名
	予防	50名	41名
一般利用者		16名	25名
福祉用具販売		60件	49件

月別福祉用具貸与利用者数状況(実績前年度比較)



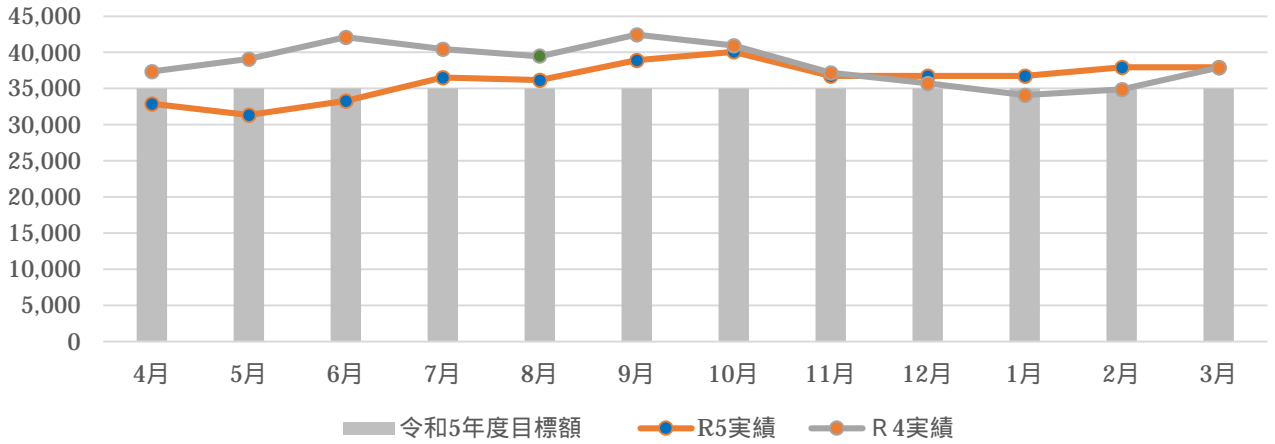
実績前年度比較（介護・予防）



*介護保険利用者については概ね目標を達成した。

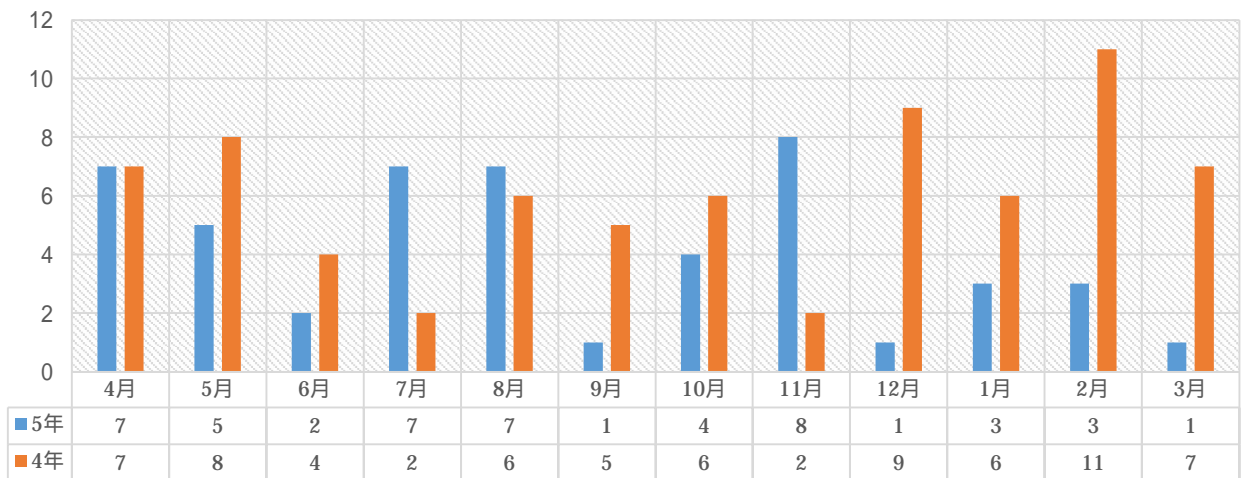
【一般】

一般レンタル実績前年度比較



【福祉用具販売】

福祉用具販売数前年度比較



【西部介護保険課】

【通所介護事業】

【基本方針】

利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持・向上並びに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るという基本方針に基づき、ケアプランに沿ってサービスの提供に努めた。

【介護・予防】月別利用者状況

実利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	52	52	52	51	48	49	52	52	48	47	45	43	591
4年	54	50	50	48	52	52	49	53	51	52	57	46	614
比較	-2	2	2	3	-4	-3	3	-1	-3	-5	-12	-3	-23

延利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	446	477	462	441	429	408	464	456	370	368	373	396	5,090
4年	447	359	461	376	435	416	422	455	374	370	387	436	4,938
比較	-1	118	1	65	-6	-8	42	1	-4	-2	-14	-40	152

実績

(千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	49,200
5年	4,133	4,372	4,699	4,111	4,065	3,936	4,221	4,739	3,559	3,847	3,619	3,535	48,835
4年	4,312	3,642	4,382	3,406	4,233	3,897	4,402	4,403	3,518	3,511	3,841	4,227	47,774

【障がい】月別利用者状況

実利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	3	2	1	1	1	2	1	2	1	1	2	1	18
4年	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	35
比較	0	-1	-2	-2	-2	-1	-2	-1	-2	-1	-1	-2	-17

延利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	6	7	5	8	6	7	7	8	4	8	8	6	80
4年	12	11	13	12	16	12	14	11	10	6	10	12	139
比較	-6	-4	-8	-4	-10	-5	-7	-3	-6	2	-2	-6	-59

実績

(千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	1,140
5年	46	53	37	63	46	53	53	53	31	31	56	56	578
4年	99	84	97	92	122	92	107	84	76	46	76	92	1,067

【高齢者等外出支援事業(町委託事業)】

実利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	0	2	1	2	2	3	2	3	1	1	1	0	18
4年	4	2	2	2	2	2	2	1	1	0	0	1	19
比較	-4	0	-1	0	0	1	0	2	0	1	1	-1	-1

延利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	0	4	1	6	5	6	5	6	1	2	1	0	37
4年	8	9	6	8	4	10	8	1	4	0	0	2	60
比較	-8	-5	-5	-2	1	-4	-3	5	-3	2	1	-2	-23

〔介護・予防〕

利用登録者数、利用回数とも昨年と変わらない状況。入院やショート利用などで利用者数の増減が激しく、特に冬期間は利用者数減となった。

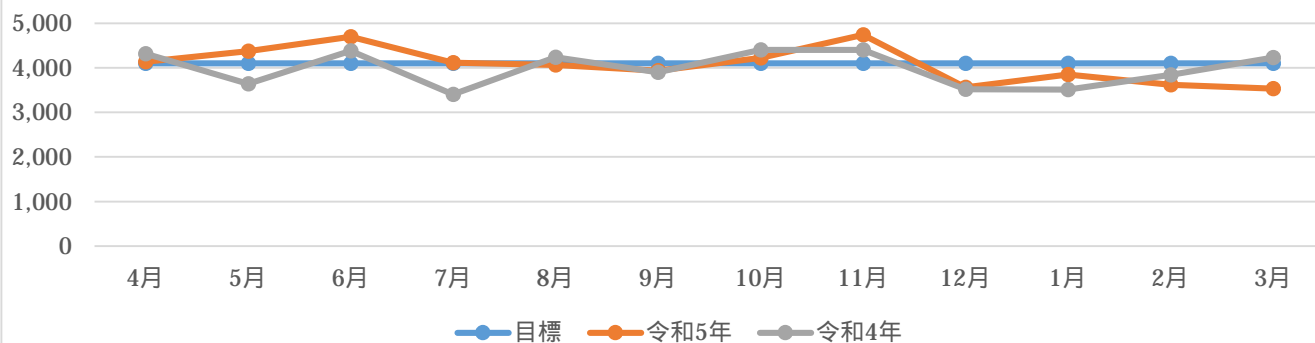
〔障がい〕

登録者2名のうち1名は週2回利用された。もう1名は施設の就労につかれ、利用のない月が多くあった。

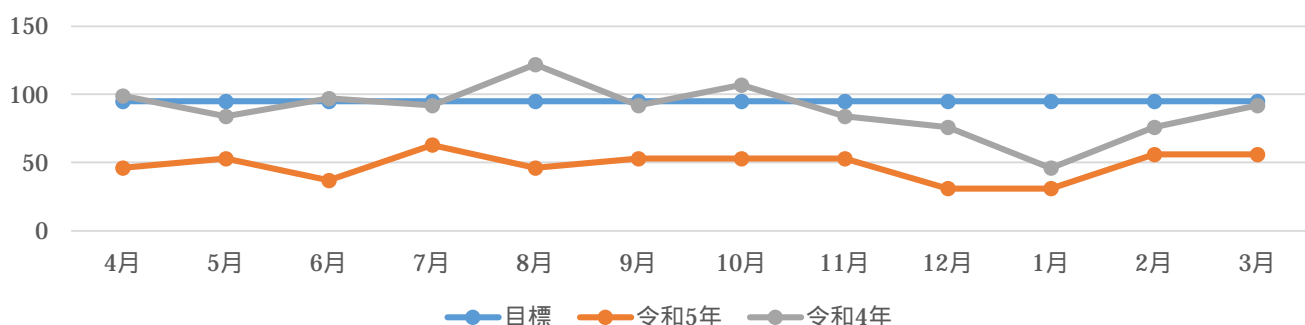
〔移送サービス〕

今年度新規利用登録があったが、施設入所され終了となった。定期利用される利用者は1名だが冬期間は長期のショートステイを利用された。そのほかの方も基本は往診の為、不定期利用。

通所介護介護・予防実績



通所介護障がい実績



【訪問介護事業】

【基本方針】

介護保険法の理念に基づき、利用者の心身の状況や生活環境、思い、気持ち等々を尊重して、快適な在宅生活が維持・継続できるようサービスの提供に心掛けた。

【介護・予防】月別利用者状況

実利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	29	29	32	30	30	35	32	32	27	28	29	27	360
4年	21	23	24	24	25	26	27	29	29	30	29	30	317
比較	8	6	8	6	5	9	5	3	-2	-2	0	-3	43

延利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	220	210	234	234	213	241	244	234	221	211	206	198	2,666
4年	195	201	214	222	215	229	241	243	236	221	217	248	2,682
比較	25	9	20	12	-2	12	3	-9	-15	-10	-11	-50	-16

実績

(千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	1,270	1,270	1,270	1,270	1,270	1,270	1,270	1,270	1,270	1,270	1,270	1,270	15,240
5年	1,045	1,053	1,137	1,109	1,051	1,181	1,209	1,187	1,063	1,028	1,008	942	13,013
4年	980	994	1,086	1,134	1,100	1,143	1,173	1,205	1,148	1,106	1,081	1,216	13,366

【障がい】月別利用者状況

実利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	5	5	5	4	4	4	5	4	5	5	4	5	55
4年	4	4	6	6	6	6	5	6	6	6	5	6	66
比較	1	1	-1	-2	-2	-2	0	-2	-1	-1	-1	-1	-11

延利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	88	94	76	81	84	80	83	76	83	80	81	82	988
4年	81	94	93	93	92	94	91	84	92	90	82	96	1,082
比較	7	0	-17	-12	-8	-14	-8	-8	-9	-10	-1	-14	-94

実績

(千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	630	630	630	630	630	630	630	630	630	630	630	630	7,560
5年	595	637	529	532	563	534	561	513	559	530	549	542	6,644
4年	548	629	641	625	626	644	615	589	627	611	577	655	7,387

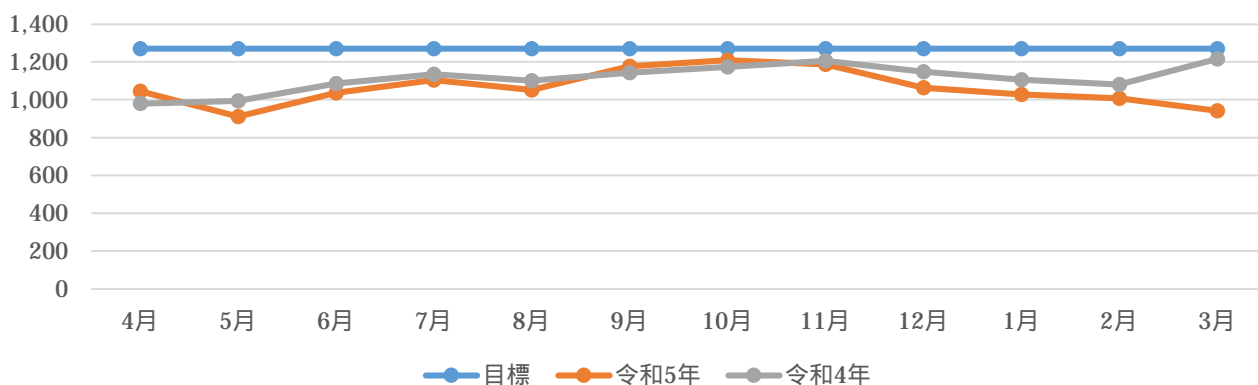
〔介護・予防〕

死亡や施設入所などで利用者の減少があったが、新規利用登録もあり昨年と変わらない状況。新規利用希望には、出来るだけ早急に対応するよう心掛けた。また、毎月の事業所内研修で、課題を共有し、職員のスキルアップに努めた。

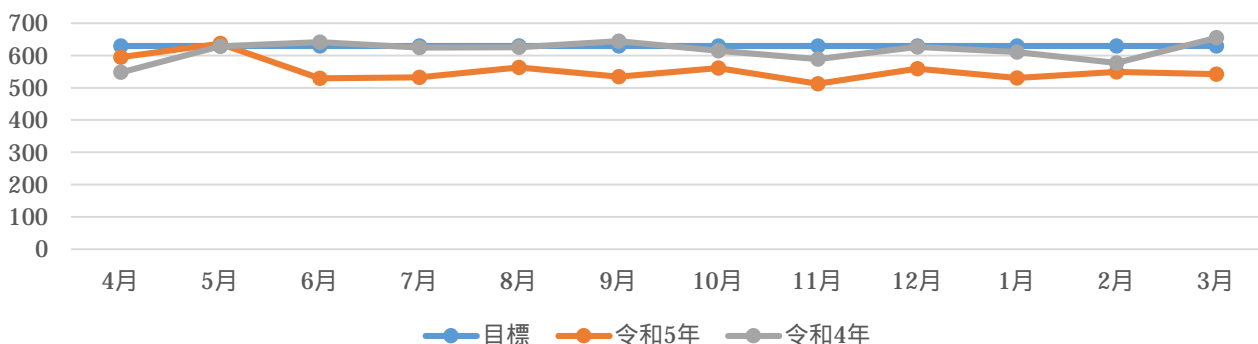
〔障がい〕

新規利用登録者はなく、長期入院で1名終了となった。ご家族や支援事業所との連携を密にし、在宅生活の支援を行った。

訪問介護介護・予防実績



訪問介護障がい実績



【訪問看護事業】

【基本方針】

利用者の方の療養生活を支援し、心身の維持回復、介護者の負担軽減をめざし、主治医の指示のもとサービスの提供を行った。

【介護・予防】月別利用者状況

実利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	26	22	23	25	24	23	24	27	24	21	23	24	286
4年	29	25	27	23	30	26	28	27	25	27	25	27	319
比較	-3	-3	-4	2	-6	-3	-4	0	-1	-6	-2	-3	-33

延利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	106	113	112	111	116	109	121	124	106	88	98	96	1,300
4年	126	128	141	103	126	126	138	134	111	119	101	130	1,483
比較	-20	-15	-29	8	-10	-17	-17	-10	-5	-31	-3	-34	-183

実績

(千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	805	805	805	805	805	805	805	805	805	805	805	805	9,660
5年	598	598	723	614	671	599	733	662	733	566	641	630	7768
4年	817	773	848	579	792	753	772	935	746	727	586	775	9,103

【医療】月別利用者状況

実利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	12	11	11	11	11	10	11	11	10	10	10	11	129
4年	12	14	15	13	13	12	12	13	13	12	11	11	151
比較	0	-3	-4	-2	-2	-2	-1	-2	-3	-2	-1	0	-22

延利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	51	59	57	51	54	41	42	43	37	39	42	41	557
4年	45	38	45	53	62	51	54	61	47	43	44	49	592
比較	6	21	12	-2	-8	-10	-12	-18	-10	-4	-2	-8	-35

実績

(千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	6,000
5年	620	562	479	617	556	380	394	403	348	364	387	388	5,498
4年	322	476	505	380	552	467	458	517	399	329	541	573	5,519

〔介護・予防〕

新規利用登録があるが、死亡や施設入所など終了者も多い状況。

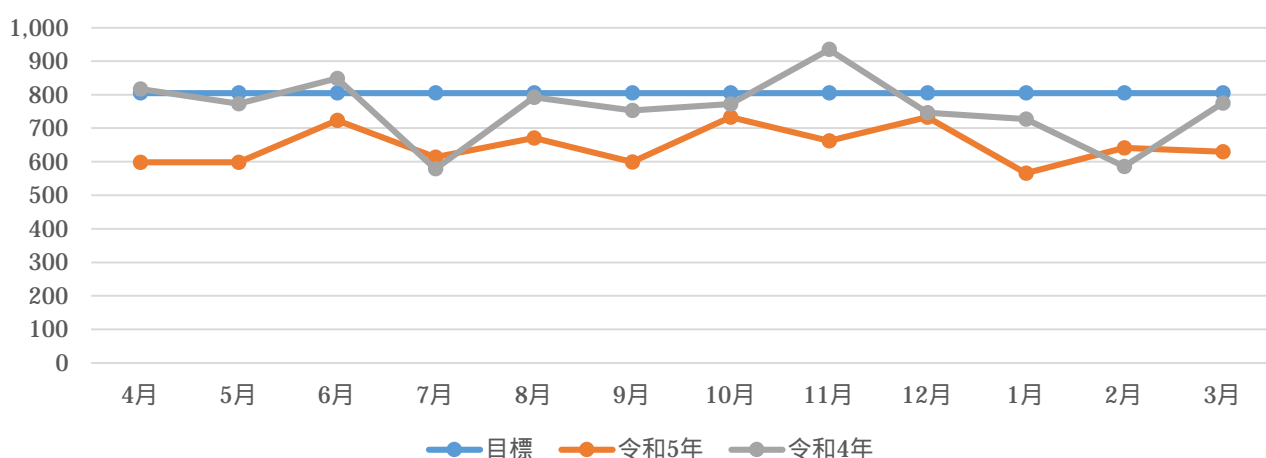
医療の利用者も含めると訪問地域が、口羽、阿須那、田所、日貫、日和、市木など広範囲にわたり、希望曜日のみでなく、移動距離も考え調整を行った。

〔医療〕

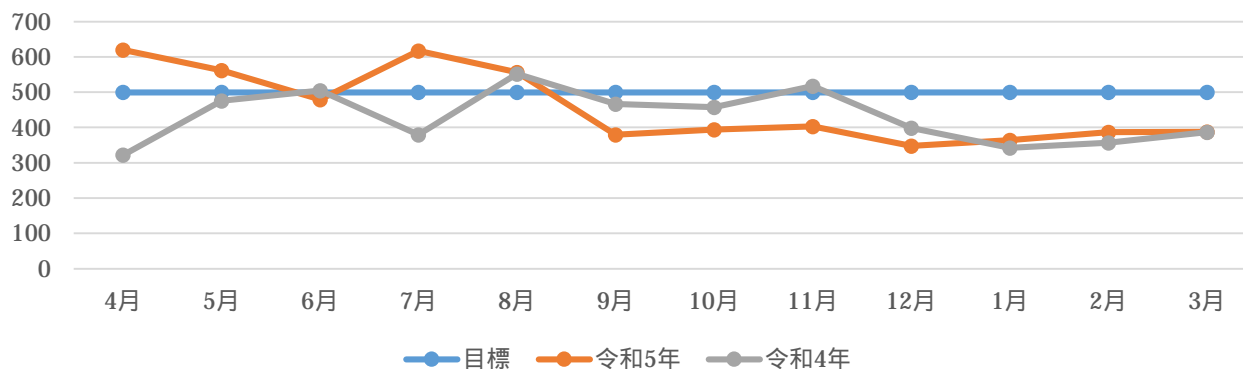
体調を崩される方や、精神的なケアが必要な方に対して、職員間で情報を共有し、支援事業所との連携を密にし、安定したケアができるよう取り組んだ。

同じ建物内にエスマイル薬局ができたことで、利用者の薬の管理が容易に出来るようになった。

訪問看護介護予防実績



訪問看護医療実績



【東部介護保険課】

【通所介護事業】

【基本方針】

利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持・向上並びに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るという基本方針に基づき、ケアプランに沿ってサービスの提供に努めた。

【介護・予防】月別利用者状況（実利用者）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	60	61	61	60	62	60	61	61	56	54	54	58	708
4年	69	65	69	69	66	67	64	62	53	54	54	61	753
比較	-9	-4	-8	-9	-4	-7	-3	-1	3	0	0	-3	-45

延利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	420	472	483	468	477	441	452	448	385	382	419	412	5,259
4年	468	459	504	480	489	486	449	457	262	365	386	470	5,275
比較	-48	13	-21	-12	-12	-45	3	-9	123	17	33	-58	-16

実績

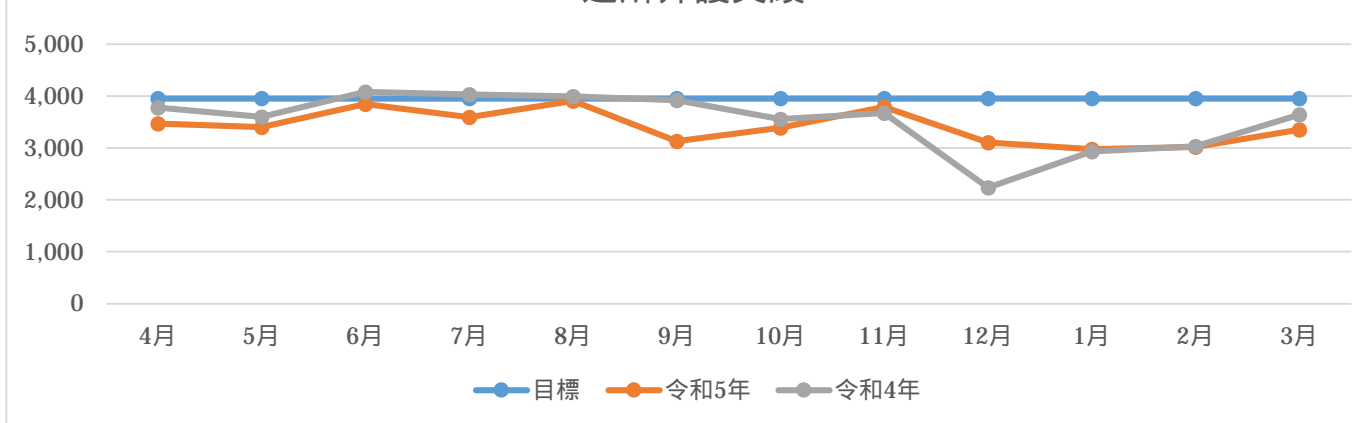
単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	3,953	3,953	3,953	3,953	3,953	3,953	3,953	3,953	3,953	3,953	3,953	3,953	47,436
5年	3,470	3,403	3,847	3,593	3,908	3,131	3,390	3,790	3,104	2,975	3,017	3,350	40,978
4年	3,777	3,600	4,081	4,032	3,996	3,919	3,552	3,675	2,236	2,932	3,033	3,643	42,470

〔介護・予防〕

新規登録者があるが、施設利用の為継続的な利用とならなかった。また、複数回利用される方の入院や施設入所ショート利用により、利用者数や利用回数に変動が見られた。

通所介護実績



【訪問介護事業】

【基本方針】

利用者の方の心身の状況や生活環境や意思等々を尊重して、在宅生活が維持・継続できるようケアプランに沿ってサービスの提供に心掛けた。

【介護・予防・総合事業】月別利用者状況 実利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	27	29	26	25	26	25	24	25	24	19	19	22	291
4年	35	28	30	32	29	28	29	28	24	24	23	26	336
比較	-8	-1	-4	-7	-3	-4	-5	-3	0	-5	-4	-9	-53

延利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	250	279	259	236	234	230	220	206	185	152	155	194	2,600
4年	303	301	279	361	334	315	287	258	222	235	231	256	3,382
比較	-53	-22	-20	-125	-100	-85	-67	-52	-37	-83	-76	-62	-782

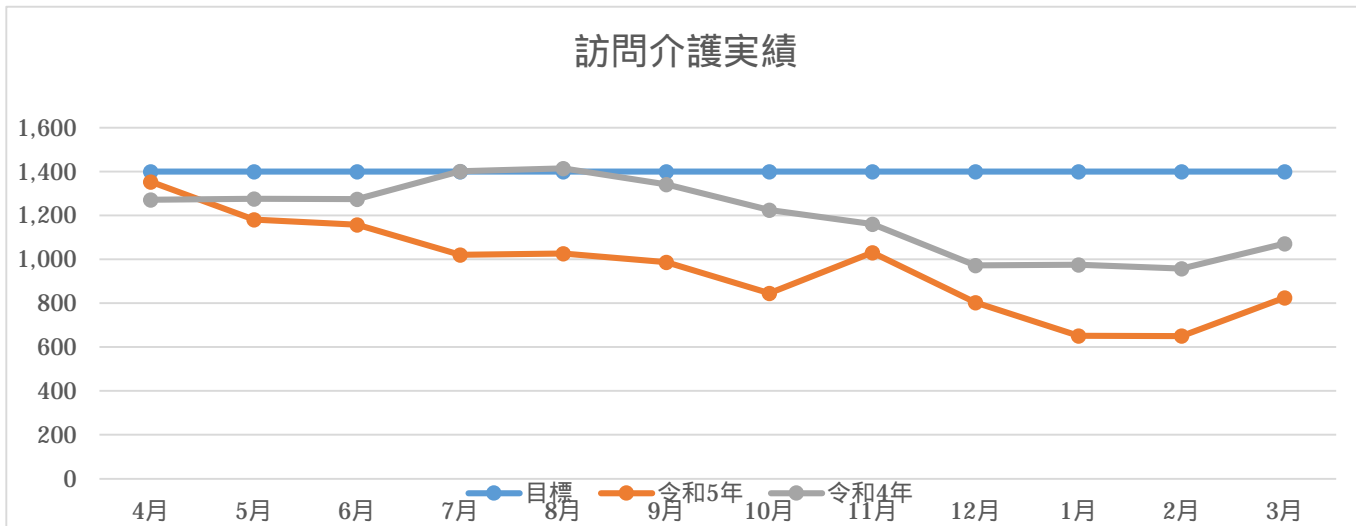
実績

単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	16,800
5年	1,354	1,181	1,157	1,020	1,027	987	846	1,031	803	652	651	825	11,533
4年	1,271	1,276	1,274	1,401	1,415	1,342	1,225	1,161	973	975	958	1,071	15,061

新規利用者の登録はあるが、利用回数の多い利用者の入院や施設入所、ショートステイを利用されるなどで利用者数の減少がみられた。
訪問日でない日の突発的な要望に、職員間の連携をとり調整しながら対応するよう努めた。

訪問介護実績



軽度生活支援ハウス運営事業（安心センター居住）運営

【基本方針】

*町委託事業

在宅において生活することが不安に思っておられる方に対し、必要に応じ住居を提供し自立生活の助長、身体機能の維持向上を図るとともに、相談助言、緊急時の対応を行い安心して、明るく生きがいのある生活を送っていただけるよう事業を実施する。

新型コロナウイルス感染予防については、引き続き感染予防に気をつけて対応した。

【居室】 15室（一人部屋13室 二人部屋2室）

【利用定員】 17名

【利用実績】 令和5年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	12	12	11	11	10	10	10	12	11	11	11	11	132
延利用者	368	337	330	311	310	300	310	334	341	341	319	341	3,942

【利用実績】 令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	15	14	14	14	14	14	13	13	12	12	12	11	158
延利用者	433	434	420	434	434	411	403	364	364	372	308	341	4,718

【利用実態】

令和5年度入居 4名

令和5年度退居 4名〔施設入所3名 入院1名〕

令和6年3月末現在入所者状況

一般	総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	計
0	0	4	1	5	1	11

令和4年度入所 1名

令和4年度退所 4名〔施設入所3名 入院1名〕

令和5年3月末現在入所者状況

一般	総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	計
0	0	2	0	6	3	11